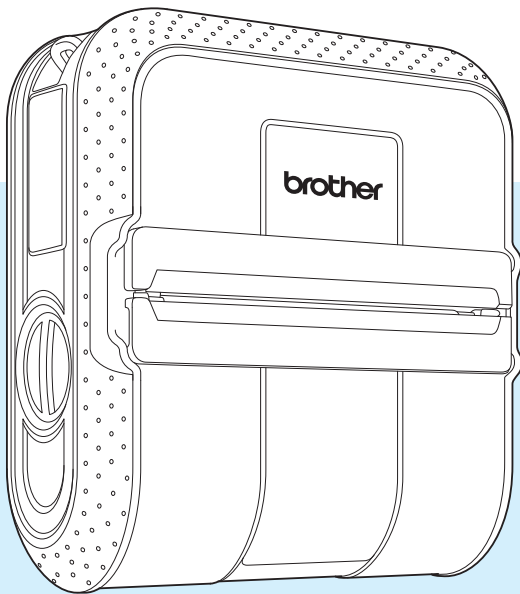


ユーザーズガイド

RJ-4040
RJ-4030Ai
RJ-4030



- ご使用になる前に、必ず本書をお読みください。
- 本書はお読みになったあとも、大切に保管し、いつでも見ることができるよう请您にしてください。

はじめに

このたびは、ポータブルプリンター RJ-4040/4030Ai/4030（以下「本機」または「プリンター」）をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

RJ-4040/4030

必ずご使用前に

安全にお使いいただくために（冊子）

クイックリファレンスガイド

ユーザーズガイド（本書）

ソフトウェアユーザーズガイド（付属の CD-ROM 内、PDF 形式）

ネットワークユーザーズガイド（付属の CD-ROM 内、PDF 形式）※RJ-4040 のみ
をお読みください。

本書はお読みにになったあとも、いつでも手にとって見られるようにしてください。

RJ-4030Ai

必ずご使用前に

安全にお使いいただくために（冊子）

クイックリファレンスガイド

ソフトウェアユーザーズガイド

ユーザーズガイド（本書）をお読みください。

ソフトウェアユーザーズガイド、ユーザーズガイドは弊社ホームページ上のサポートサイト（support.brother.co.jp）からダウンロードすることができます。

本書はお読みにになったあとも、いつでも手にとって見られるようにしてください。

本書で使用されている記号

本書にある以下の記号は、重要度によって追加情報を表示するために使用します。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が軽傷あるいは傷害を負う危険の可能性を示しています。



この記号は、従っていただく情報や手順を表しています。
もし手順に従っていただけない場合は、故障や誤動作の原因となる場合があります。



この記号は、本機をよりよく知っていただくための情報や手順、または機能的に使っていただくための情報や手順を表しています。

目次

1	本機の導入とその準備	1
	各部の名称.....	1
	電源の種類と操作.....	2
	AC アダプター（別売品）で接続する.....	2
	カーアダプター（別売品）で接続する.....	2
	Li-ion 充電電池（別売品）を使用する.....	3
	Li-ion 充電電池を装着する.....	3
	Li-ion 充電電池を充電する.....	4
	Li-ion 充電電池について.....	5
	RJ-4040 プリンタードライバーとソフトウェアをインストールする.....	6
	無線 LAN で接続するその前に.....	6
	機器のネットワーク構成.....	7
	インストール方法を選択する.....	7
	インストールの手順（USB ケーブル／無線 LAN を使用）.....	8
	WPS 機能を使用して自動設定とインストールを行う.....	13
	ウェブブラウザで管理する.....	16
	RJ-4030Ai プリンタードライバーとソフトウェアをインストールする.....	16
	RJ-4030 プリンタードライバーとソフトウェアをインストールする.....	17
2	本機を使用する	19
	操作パネル.....	19
	表示ランプについて.....	19
	ボタンの機能.....	20
	用紙をセットする.....	22
	ロール紙をカットするには.....	24
	本機とパソコンを接続する.....	24
	USB で接続する.....	24
	Bluetooth® で接続する（RJ-4030Ai/4030 のみ）.....	25
	Wi-Fi® で接続する（RJ-4040 のみ）.....	26
	シリアルケーブルで接続する.....	26
	印刷について.....	27
	印刷する.....	27
	印刷濃度の設定について.....	28
	プリンタードライバーの設定.....	28
	用紙サイズを設定する.....	29
	用紙サイズの設定を配布する.....	31
	用紙サイズの設定のみを配布する.....	31
	用紙サイズの設定をインストーラーに組み込んで配布する (RJ-4040/4030).....	31
3	RJ ユーティリティ	32
	概要.....	32
	RJ ユーティリティを使用する.....	32
	RJ ユーティリティをお使いになる前に.....	32
	RJ ユーティリティを起動する.....	32

RJ ユーティリティの使いかた	32
設定項目	33

4 通信設定 (RJ-4040 のみ) 39

概要.....	39
通信設定を使用する	39
通信設定を起動する	39
通信の設定を変更する	41
複数台のプリンターに設定の変更を適用する	41
メニューバー	42
接続プリンターの状態.....	44
ネットワーク設定	44

5 その他の機能 46

マスのストレージ機能	46
マスのストレージ機能とは	46
マスのストレージ機能を使用する	46
JPEG 印刷	47

6 お手入れ 48

プリントヘッドのお手入れ.....	48
ローラーのお手入れ	48
ラベル排出口のお手入れ	49

7 付録 50

表示ランプ	50
充電電池容量について	52
表示ランプ警告.....	53
本体設定情報の印刷	55
ベルトクリップを取りつける	56

8 困ったときは 57

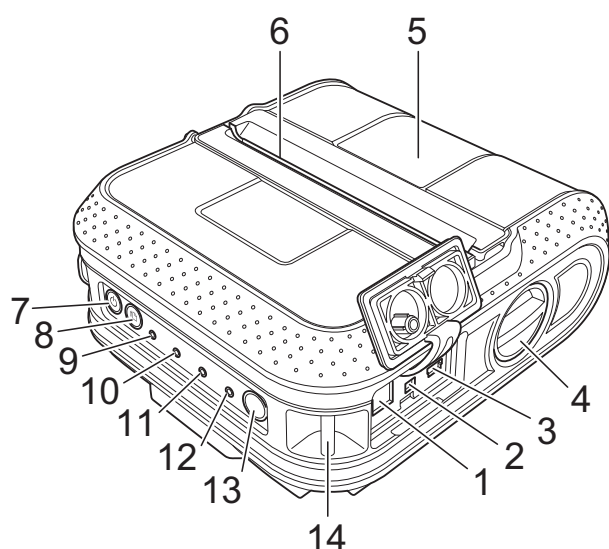
概要.....	57
---------	----

9 仕様 61

製品仕様	61
------------	----

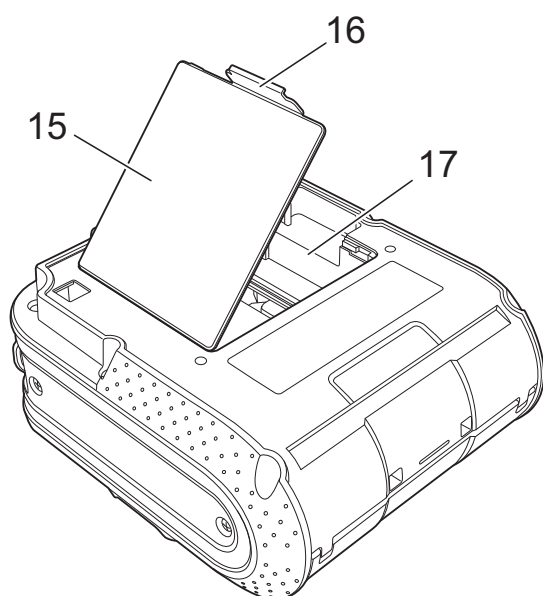
各部の名称

前面



- 1 AC/DC コネクタ
- 2 シリアルポート
- 3 USB ポート
- 4 カバーオープンレバー
- 5 ロール紙カバー
- 6 用紙排出口
- 7 電源ボタン (⏻)
- 8 フィードボタン (⏮)
- 9 電源表示ランプ (POWER)
- 10 状態表示ランプ (STATUS)
- 11 充電表示ランプ (BATT)
- 12 RJ-4040: Wi-Fi 表示ランプ (📶 WiFi 📶)
- RJ-4030Ai/4030: Bluetooth 表示ランプ (📶)
- 13 RJ-4040: Wi-Fi ボタン /
- RJ-4030Ai/4030: Bluetooth ボタン
- 14 フック用リング
- 15 充電電池カバー
- 16 充電電池カバーロック
- 17 充電電池収納スペース

背面



電源の種類と操作

本機は、様々な種類の電源により動作します。ご利用方法に合わせて、最適な電源オプション（別売品）を選択し、ご購入ください。

AC アダプターおよびカーアダプターは、Li-ion 充電機を本機に装着しなくても、本機に直接電源を供給して印刷することが可能です。また、AC アダプターおよびカーアダプターは、本機に装着した Li-ion 充電機を充電する際の電源としてご利用いただけます。

Li-ion 充電機は、AC アダプターまたはカーアダプターによる電源がない場合に、本機に電源を供給して印刷することが可能です。本機に装着した状態で、AC アダプターまたはカーアダプターから充電します。また、別売の 4 個口集合充電器をご利用いただくことで、本機を利用せずに、充電することもできます。

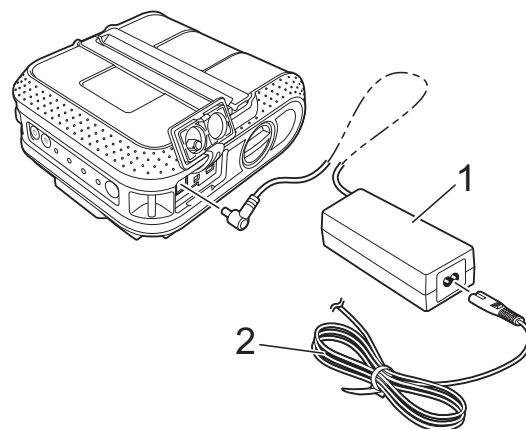
AC アダプター（別売品）で接続する

AC アダプターを用いて本機を電源コンセントに接続して本機に電源を供給したり、充電機を充電します。

以下の手順で、本機に電源を供給して、電源を入れることができます。

- ① 図を参考に、AC アダプターに本機を接続します。
- ② 電源コードを AC アダプターに接続します。
- ③ 電源コードを電源コンセントに差し込みます（AC100V、50/60 Hz）。

- ④ 本機の電源ボタン（）を長押しして電源を入れます。電源表示ランプ（POWER）が緑色に点灯し、待機状態となります。



- 1 AC アダプター
- 2 電源コード



メモ

AC アダプターをご利用になる時は、束ねているコードをほどいてください。

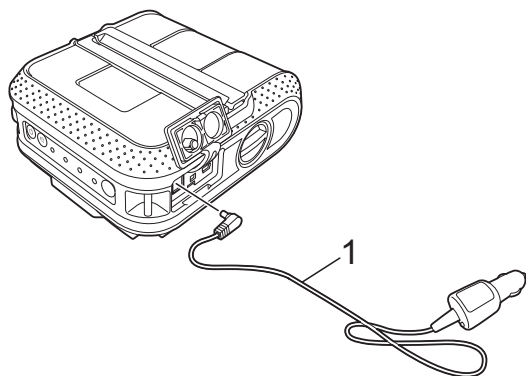
カーアダプター（別売品）で接続する

車の 12V 電源コンセント（シガーソケットライター部など）に本機を接続して、本機に電源を供給したり、充電機を充電します。

以下の手順で、本機に電源を供給して、電源を入れることができます。

- ① カーアダプターを車の 12V 電源コンセントに挿し込みます。
- ② カーアダプターを本機に接続します。

- ③ 車のエンジンを始動し、本機の電源ボタン (⏻) を長押しして電源を入れます。
電源表示ランプ (POWER) が緑色に点灯し、待機状態となります。



1 カーアダプター



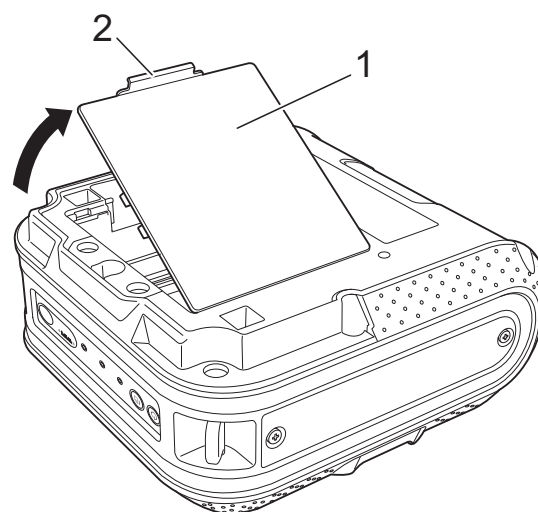
メモ

- カーアダプターは別売品です。
- 車両から供給される電圧は一定ではなく、変動します。本機の印刷速度は、供給される電圧によって異なります。

Li-ion 充電電池 (別売品) を使用する

Li-ion 充電電池を装着する

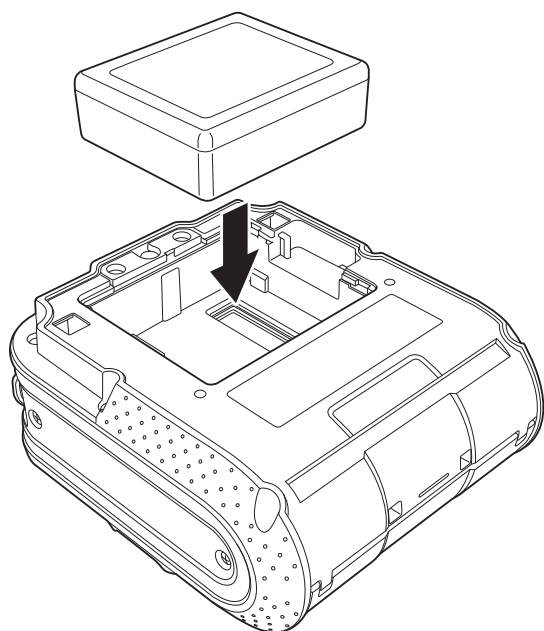
- ① 充電電池カバーロックを内側に押しながら、充電電池カバーを持ち上げます。



- 1 充電電池カバー
2 充電電池カバーロック

- ② カバーを手前に引いて、取り外します。

- ③ 端子の方向を合わせて、Li-ion 充電電池を充電電池収納スペースにはめ込みます。



- ④ 充電電池カバーの端にあるツメが正しく挿入されていることを確認しながら、カバーを取り付けます。
充電電池カバーロックがかかるよう、カチッと音がするまでしっかりフタを閉めてください。

メモ

Li-ion 充電電池から供給される電圧は一定ではなく、変動します。本機の印刷速度は、供給される電圧によって異なります。

Li-ion 充電電池を取り外す

充電電池を装着した時の手順で充電電池カバーを外し、充電電池を取り外して、再び充電電池カバーを取り付けます。



充電電池を取り外しにくい場合、充電電池カバーを外した状態で本機を逆さまにすると、充電電池は自重で落ちてきます。
ケガをしないように気をつけてください。

Li-ion 充電電池を充電する

Li-ion 充電電池は、繰り返し充電して利用することができます。

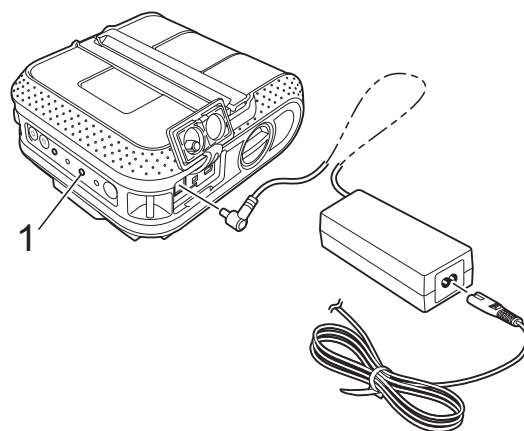
次の手順で、本機に取り付けた状態で充電する方法を説明します。



メモ

- Li-ion 充電電池は、0% から満充電にするのに、約 6 時間かかります。
- 新品の Li-ion 充電電池では、満充電状態から、約 2,000 枚の印刷が可能です。（弊社の印刷テスト用データ 102 × 152mm サイズ < 印字率 7% > を使用し、温度 23 °C 下において USB 接続で連続印刷をした場合）
- Li-ion 充電電池は、ご使用前に以下の手順で充電を行ってください。

- ① Li-ion 充電電池が本機に装着されていることを確認します。
- ② 下図のように、本機に AC アダプターを接続し、電源コードと AC アダプターを接続して、プラグ側を電源コンセントに挿し込むか、またはカーアダプターを接続して車の電源コンセント（シガーソケットライター部）に挿し込みます。



1 充電表示ランプ (BATT)

充電中は、充電表示ランプ (BATT) がオレンジ色に点灯します。

充電が完了すると、充電表示ランプ (BATT) が消灯します。



メモ

電源が入っている状態であっても、電源を接続すると充電を行います。ただし、電源が入っていると一度充電が完了したあとも、電力を使用し続けますので、次にお使いになるときに、満充電時より電力が少なくなっています。充電時には、電源を切るようにしてください。

Li-ion 充電電池の充電を中止するには

Li-ion 充電電池の充電を中止するには、電源コードまたはカーアダプターを本機の AC/DC コネクタから抜きます。

Li-ion 充電電池について

- Li-ion 充電電池は、ご購入後できるだけ速やかに充電してください。工場出荷時には、必要最低限の充電量になっているため、最初の充電容量分を放電している場合がございます。劣化を防ぐために、すぐ充電することをお勧めします。
- Li-ion 充電電池を充電するには、プリンター本体と電源による充電、または 4 個口集合充電器と同梱のアダプターをご使用ください。
- Li-ion 充電電池は、濃度設定を濃くして印刷すると、薄い印刷よりも早く、電気を消耗します。印刷濃度はプリンタードライバーの設定画面または RJ ユーティリティ (「印字濃度」 (▶▶33 ページ) をご覧ください。) で設定できます。

- Li-ion 充電電池の充電可能な温度範囲は 0 °C ~ 40 °C です。この範囲内の温度環境で充電を行ってください。充電時の環境温度がこの範囲外の場合、Li-ion 充電電池は充電されず、充電表示ランプ (BATT) が点灯したままになります。この時、充電表示ランプ (BATT) からは、充電しているかどうか、分かりませんので、ご注意ください。温度環境が充電可能な温度範囲に戻れば、充電を再開します。温度範囲が外れた時間が長く、充電が完了しない場合でも、安全のために 6 時間で充電を完了し、充電表示ランプ (BATT) が消灯します。
- カーアダプターを接続して充電する場合、電源コンセントから供給される電圧が、満充電するために必要な電圧に満たないことがあります。満充電になっていなくても、充電を開始してから最大 6 時間が経過すると、充電表示ランプ (BATT) が消灯して充電を終了します。

Li-ion 充電電池の特性について

Li-ion 充電電池を長くご利用いただくために、充電電池の性質を理解してご利用ください。

- 高温、低温でのご使用や保管は Li-ion 充電電池の劣化を早めることがあります。特に高充電状態 (充電容量 90% 以上) で、高温環境下にあると、著しく劣化が進みます。
- 充電しながらのご使用は、Li-ion 充電電池の劣化を早めることがあります。Li-ion 充電電池を装着して本機を使用する場合は、AC アダプターやカーアダプターを抜いてください。
- 本機を長期間使用しないときは、本機から取り外し、直射日光の当たらない、涼しい場所に保管してください。
- Li-ion 充電電池を長期間使用しない場合でも、6ヶ月に一度は充電を行うことをお勧めします。
- その他の注意事項については、Li-ion 充電電池に付属の取扱説明書をご覧ください。

RJ-4040 プリンタードライバーとソフトウェアをインストールする

RJ-4040 のプリンタードライバーとソフトウェアは、次のいずれかの方法でインストールできます。

■ USB ケーブル接続

■ 無線 LAN 接続

無線 LAN を使用する場合は、まず以下の「無線 LAN で接続するその前に」から、「インストール方法を選択する」をお読みください。

USB 接続の場合は、「インストールの手順 (USB ケーブル／無線 LAN を使用)」(▶▶8 ページ) からお読みください。

無線 LAN で接続するその前に

お使いのネットワークのアクセスポイント／ルーターと通信するには、まず本機の無線設定をする必要があります。無線設定をすると、ネットワーク上のパソコンから、本機にアクセスできますが、パソコンから本機を操作するには、プリンタードライバーとソフトウェアをインストールする必要があります。したがって、まず本機のネットワークを設定し、その後、ドライバーのインストールを行います。最後にご利用方法に合わせて本機の設定を行います。以下に、無線設定とインストールの手順を説明します。



- 本機をネットワークに接続する場合は、事前にお使いの無線 LAN の設定を知っておく必要があります。インストールを進める前に、システム管理者に連絡し、必要な情報を得ておくことをお勧めします。
 - すでに無線設定を行ったことがあるプリンターの場合は、今回の設定前に、一旦ネットワーク設定をリセットする必要があります。
- 1 電源ボタン (⏻) を長押しして、本機の電源を切ります。
 - 2 フィードボタン (⏮) と電源ボタン (⏻) を長押しすると、電源表示ランプ (POWER)、状態表示ランプ (STATUS)、充電表示ランプ (BATT) がオレンジ色に点滅します。
 - 3 電源ボタン (⏻) を押しながら、フィードボタン (⏮) を 1 回押し続け、電源ボタン (⏻) とフィードボタン (⏮) を同時に離します。



メモ

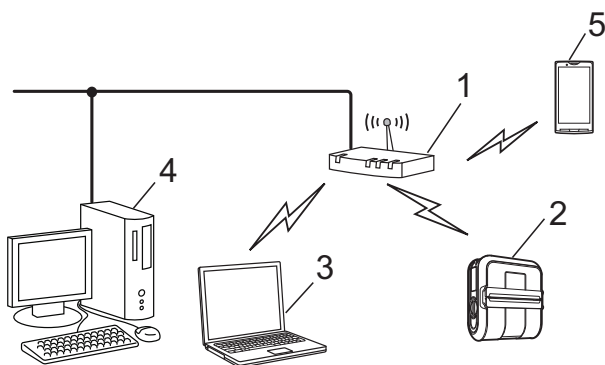
無線 LAN 環境で最高の通信速度を得られるように、本機はできるだけアクセスポイント／ルーターの近くで使い、かつ、できるだけ両者の間に障害物を置かないでください。大きな物体や壁があったり、他の電子機器からの干渉（通信混信）があったりすると、データ転送のスピードが落ちることがあります。

そのため、無線が常に最善の接続方法とは限りません。USB を使用すると、最大の処理速度が得られます。

機器のネットワーク構成

本書では、下図にあるようなインフラストラクチャモードというネットワーク構成により、インストールする方法を説明しています。アドホックモード（一対一での接続）での接続を検討されている場合は、付属の CD-ROM に収録されているネットワーク ユーザーズガイドをご覧ください。アドホックモードは端末や OS によっては使えない場合があります。

インフラストラクチャモード



- 1 アクセスポイント／ルーター
- 2 プリンター本体
- 3 パソコン
(アクセスポイント／ルーターと無線で接続)
- 4 パソコン
(アクセスポイント／ルーターと有線で接続)
- 5 スマートフォン

インストール方法を選択する

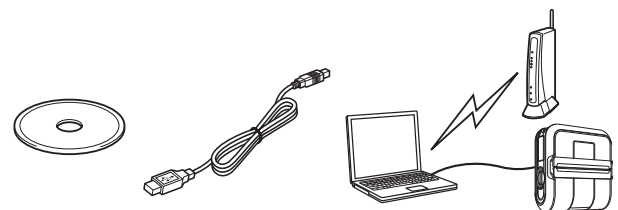
以下に、お使いのプリンターを無線 LAN に参加させる方法を 2 つ掲載しています。ご使用環境によって、適した方法をお選びください。

もし、ご利用のネットワーク環境がエンタープライズ無線 LAN (LEAP, EAP-FAST など) の場合は、USB 接続で設定する方法をご使用ください。

メモ

ここで紹介している 2 つの方法以外にも設定するための情報をご用意しています。詳細は、付属の CD-ROM に収録されているネットワーク ユーザーズガイドをご覧ください。

CD-ROM と USB ケーブルを使用して設定する



この設定方法をご利用になる場合は、プリンターが使う予定のネットワークに既に無線接続しているパソコンと USB で接続して設定を行うことをお勧めします。



- 設定には USB ケーブル（市販品）が必要です（コネクタ形状：コンピューター側 A タイプ、プリンター側ミニ B タイプ）。
- お使いのパソコンをネットワークケーブルで無線 LAN アクセスポイント／ルーターと接続している場合は、インストールを進める前に、お使いの無線 LAN の SSID とネットワークキーを確認しておく必要があります。次の「メモ」欄を利用して、設定内容を書きとめておいてください。
- 弊社では、お使いのネットワークのポリシー（とその設定）については、サポートを行っておりません。ネットワークの管理者にお尋ねください。
セキュリティの設定については、ブラザーコールセンターへお問い合わせ頂いてもご案内できませんので、あらかじめご了承ください。

メモ

項目	設定
SSID (ネットワーク名)	
ネットワークキー ※ (セキュリティキー、 暗号化キー)	

※ ネットワークキーは、パスワード、セキュリティキーまたは暗号化キーとも呼ばれています。

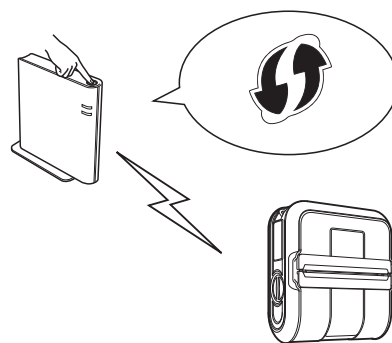


メモ

- 無線設定を行うには、**SSID** が必要です。オープンシステム（パスワードが無いネットワーク）で無い場合、通常はネットワークキーの情報が必要です。また、暗号化に **WEP** という方法を使っている場合には、**WEP** キーが必要になります。
- SSID**、ネットワークキーの調べ方：
 - SSID**、ネットワークキー、**WEP** キーなどのネットワーク関係の情報は、各設定者が設定する情報ですので、設定を行ったネットワーク管理者とご相談ください。ご自身で設定をされた場合には、お使いのルーター／無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書をご参照ください。
 - また、お使いの無線 LAN の設定がステルスモードになっている場合は、ここでご紹介する方法ではネットワークに接続できませんので、ネットワーク管理者とご相談ください。
 - 本機の **MAC** アドレスをお知りになりたい場合は、本機の設定情報を印刷して確認ください。方法は、「本体設定情報の印刷」（▶▶55 ページ）をご覧ください。

WPS 機能を使用して自動設定を行う

お使いの無線 LAN アクセスポイント／ルーターが WPS (Wi-Fi Protected Setup™) の自動無線設定に対応している場合は、WPS という機能を使って、自動設定することができます。



ご選択いただいた内容により、それぞれ手順が異なります。以下の指示にしたがって本書を読み進めてください。

- 「CD-ROM と USB ケーブルを使用して設定する」方法を選ばれた場合は、次項の「インストールの手順（USB ケーブル／無線 LAN を使用）」へお進みください。
- 「WPS 機能を使用して自動設定を行う」方法を選ばれた場合は、「WPS 機能を使用して自動設定とインストールを行う」（▶▶13 ページ）へお進みください。

インストールの手順（USB ケーブル／無線 LAN を使用）

ソフトウェアのインストール手順は、お使いのパソコンの OS によって異なります。

また、インストールの手順は、予告なく変更されることがあります。



管理者権限でログインしていることをご確認ください。

この項では、「標準インストール」を使ってインストールする方法を説明しています。「標準インストール」では、**P-touch Editor**、日本語フォント、プリンタードライバー、**P-touch Update Software** およびプリンター設定ツールがインストールされます。「標準インストール」を使っていただくことで、プリンターの利用者として必要なソフトウェアを全て一度にインストールできます。

以下の手順は、**Windows 7** を例にとっています。他の **OS** をお使いの場合は、類推してください。

- 1 付属の **CD-ROM** をパソコンの **CD-ROM** ドライブに挿入します。



メモ

画面が自動で表示されないときは、**CD-ROM** ドライブをダブルクリックし、**[start.exe]** をダブルクリックしてください。

- 2 **[標準インストール]** をクリックします。



メモ

- 各ボタンを選択して行われる内容は、以下のとおりです。

1 標準インストール

P-touch Editor、日本語フォント、プリンタードライバー、**P-touch Update Software**、プリンター設定ツールを一括してインストールします。

2 ユーザーズガイド

ユーザーズガイド、ソフトウェアユーザーズガイド、ネットワークユーザーズガイドを表示します。

3 個別インストール

P-touch Editor、日本語フォント、プリンタードライバー、**P-touch Update Software**、プリンター設定ツールを個別に選んでインストールします。

4 ユーティリティ インストール

BRAdmin Light ユーティリティをインストールします。

5 サービスとサポート

サポートサイトへのリンクを表示します。

- 本機の設定をするには、プリンタードライバーのインストールが必要です。ご注意ください。

- 3 使用許諾の内容を確認し、**[同意]** をクリックします。

- 4 **[インストール]** をクリックし、画面の指示にしたがってインストールを進めます。

- 5 以下の画面が表示されたら、接続方法を選択して **[次へ]** をクリックします。

接続方法：

1 USB ケーブル

2 無線 LAN 接続



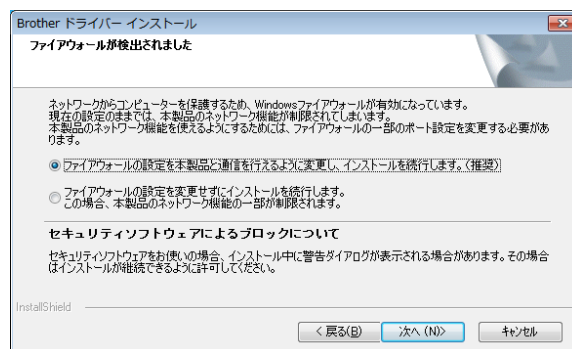
メモ

通信設定を使用すると、1 台のプリンターに対してネットワークの変更がでるだけでなく、同じ設定を簡単に複数台のプリンターに反映することもできます。

- [無線 LAN 接続] を選択した場合は、次項の「無線 LAN をご使用の方へ」へお進みください。
- [USB ケーブル] を選択した場合は、「USB をご使用の方へ」(▶▶13 ページ) へお進みください。

無線 LAN をご使用の方へ

- 1 [ファイアウォールが検出されました]
画面が表示されたら、[ファイアウォールの設定を本製品と通信を行えるように変更し、インストールを続行します。(推奨)] を選択し、[次へ] をクリックします。
Windows ファイアウォールを使用していない場合は、UDP ポート 137 および 161 へのアクセスを許可します。

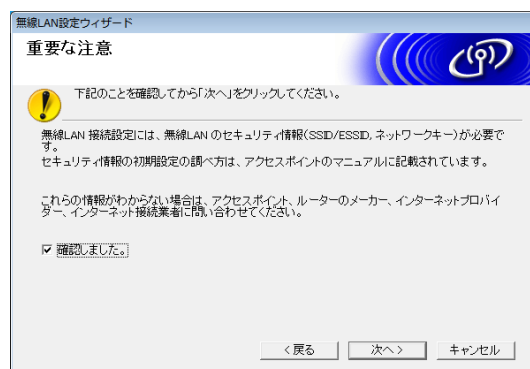


- 2 [はい、USB ケーブルを持っています] を選択し、[次へ] をクリックします。



メモ

[重要な注意] 画面が表示される場合は、表示された内容を読み、SSID とネットワークキーを確認し、チェックボックスにチェックを入れてから、[次へ] をクリックします。



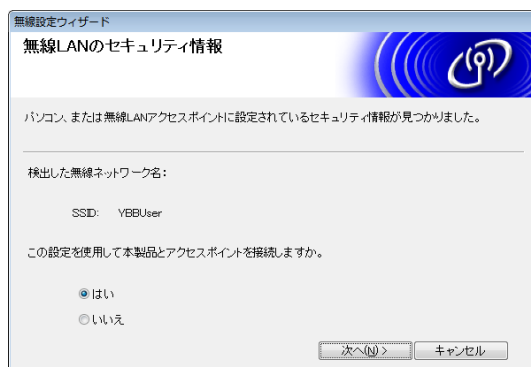
- ③ USB ケーブル（別売品）で、直接パソコンと本機を接続します。



- ④ 次のいずれかを行います。

- インストールの確認画面が表示されたら、チェックボックスにチェックを入れ、[次へ] をクリックして、手順 ⑤ へ進みます。
- それ以外の場合は、手順 ⑥ へ進みます。

- ⑤ 表示された SSID で接続してよい場合は、[はい] をクリックします。
[次へ] をクリックして、手順 ⑧ へ進みます。



- ⑥ お使いのプリンターで使用可能な無線 LAN が、ウィザードによってリスト表示されます。「メモ」(▶▶8 ページ) に書きとめた SSID を選択してください。



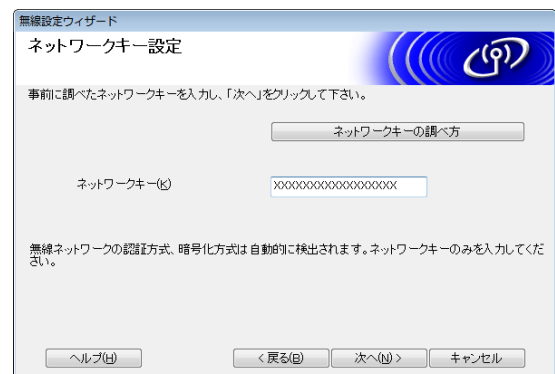
メモ

- ・ リストに何も表示されない場合は、まずアクセスポイントの電源が入っており、SSID を発信していることを確認し、そのあと、本機が無線通信の範囲内にあるかどうかを確認してください。

確認したら、[再検索] をクリックします。

- ・ アクセスポイントが SSID を発信しない設定になっている場合は、[詳細] ボタンをクリックすると、SSID を手入力できます。画面の指示にしたがって [SSID (ネットワーク名)] 欄に入力し、[次へ] をクリックしてください。

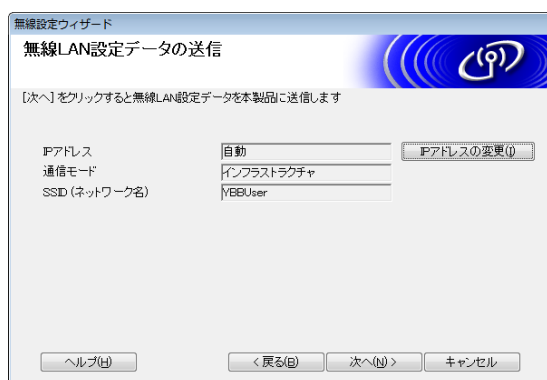
- ⑦ 「メモ」(▶▶8 ページ) に書きとめておいた [ネットワークキー] を、入力します。



メモ

お使いのネットワークに認証と暗号化の設定がなされていない場合、**【警告！】**画面が表示されます。設定を続行するには、**【OK】** をクリックして、手順 **⑧** に進んでください。

- ⑧** 無線 LAN の設定内容を確認し、**【次へ】** をクリックします。設定が本機に送信されます。



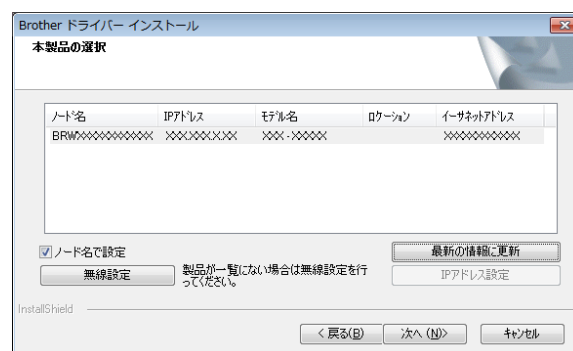
メモ

- ・ **【キャンセル】** をクリックすると、設定は変更されません。
- ・ 本機に手入力での IP アドレスを割り当てたい場合は、**【IP アドレスの変更】** をクリックし、お使いのネットワークに対応した IP アドレスを入力してください。
- ・ 無線設定失敗の画面が表示されたら、**【再設定】** をクリックしてください。

- ⑨** パソコンと本機を接続している USB ケーブルを外し、**【次へ】** をクリックします。

これで無線設定は完了です。
手順 **⑩** へ進み、プリンタードライバーとソフトウェアのインストールを行ってください。

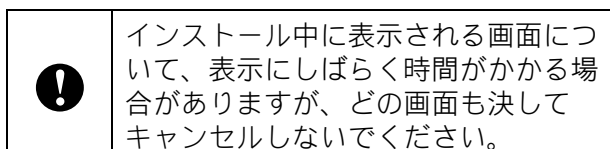
- ⑩** 一覧からプリンターを選択し、**【次へ】** をクリックします。



メモ

- ・ 無線設定に失敗した場合、画面が表示されます。画面の指示にしたがって、無線設定を完了してください。
- ・ WEP を使用しているにもかかわらず、お使いのプリンターが見つからない場合は、WEP キーを正しく入力しているかどうかを確認してください。

- ⑪** **【完了】** をクリックします。
これでインストールは完了です。



メモ

- ・ Windows Vista/Windows 7 をお使いの方へ：
【Windows セキュリティ】 画面が表示されたら、インストールを正しく完了するために、チェックボックスにチェックを入れて、**【インストール】** をクリックしてください。
- ・ セキュリティ設定の内容によっては、Windows セキュリティやアンチウイルスソフトウェアの画面が表示されることがあります。許可をして、インストールを続行してください。

USB をご使用の方へ

- 1 画面の指示にしたがってプリンタードライバーのインストールを行います。以下の画面が表示されたら、パソコンと本機を USB ケーブルで接続し、本機の電源を入れます。プリンタードライバーのインストールが行われます。



- 2 [完了] をクリックします。これでインストールは完了です。

WPS 機能を使用して自動設定とインストールを行う

ソフトウェアのインストール手順は、お使いのパソコンの OS によって異なります。

また、インストールの手順は、予告なく変更されることがあります。



- 管理者権限でログインしていることをご確認ください。
 - 環境がエンタープライズ無線 LAN の場合は、本機の無線設定には USB 接続を使用してください。RJ-4040 の場合は、プリンタードライバーのインストール後に、通信設定を使用して設定を行うこともできます。
- プリンタードライバーのインストールについては、「インストールの手順 (USB ケーブル／無線 LAN を使用)」 (▶▶8 ページ) をご覧ください。
- 通信設定については、「通信設定 (RJ-4040 のみ)」 (▶▶39 ページ) をご覧ください。

この項では、「標準インストール」を使ってインストールする方法を説明しています。「標準インストール」では、P-touch Editor、日本語フォント、プリンタードライバー、P-touch Update Software およびプリンター設定ツールがインストールされます。「標準インストール」を使っていただくことで、プリンターの利用者として必要なソフトウェアを全て一度にインストールできます。

以下の手順は、Windows 7 を例にとっています。他の OS をお使いの場合は、類推してください。

- 1 無線 LAN アクセスポイント／ルーターに WPS のマークがついていることを確認します。



- ② 本機を WPS アクセスポイント／ルーターの通信範囲内に置きます。通信範囲は環境によって変わります。お使いのアクセスポイント／ルーターの取扱説明書をご参照ください。
- ③ 本機の電源を入れたあと、Wi-Fi ボタンを Wi-Fi 表示ランプ (Wi-Fi) が青色に点滅するまで押し続けます。(5 秒以上)
- ④ 無線 LAN アクセスポイント／ルーターの WPS ボタンを押します。設定が完了すると、本機の Wi-Fi 表示ランプ (Wi-Fi) が青色に点灯します。

これで無線設定は完了です。
手順 ⑤ に進み、引き続きプリンタードライバーとソフトウェアのインストールを行います。

- ⑤ 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブに挿入します。

メモ

画面が自動で表示されないときは、CD-ROM ドライブをダブルクリックし、**[start.exe]** をダブルクリックしてください。

- ⑥ **[標準インストール]** をクリックします。



メモ

- 各ボタンを選択して行われる内容は、以下のとおりです。

1 標準インストール

P-touch Editor、日本語フォント、プリンタードライバー、P-touch Update Software、プリンター設定ツールを一括してインストールします。

2 ユーザーズガイド

ユーザーズガイド、ソフトウェアユーザーズガイド、ネットワークユーザーズガイドを表示します。

3 個別インストール

P-touch Editor、日本語フォント、プリンタードライバー、P-touch Update Software、プリンター設定ツールを個別に選んでインストールします。

4 ユーティリティ インストール

BRAdmin Light ユーティリティをインストールします。

5 サービスとサポート

サポートサイトへのリンクを表示します。

- 本機の設定をするには、プリンタードライバーのインストールが必要です、ご注意ください。

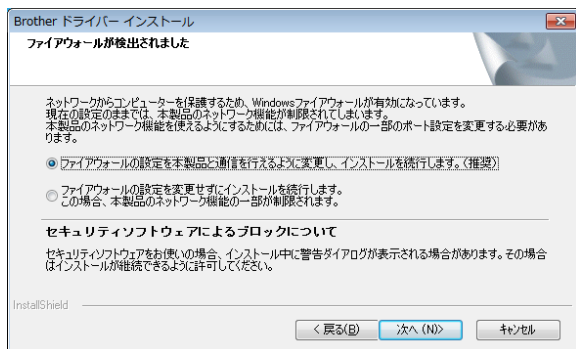
- ⑦ 使用許諾の内容を確認し、**[同意]** をクリックします。

- ⑧ **[インストール]** をクリックし、画面の指示にしたがってインストールを進めます。

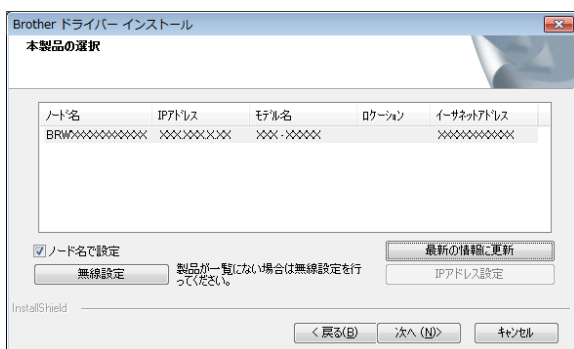
- 9 以下の画面が表示されたら、[無線 LAN 接続] を選択して、[次へ] をクリックします。



- 10 [ファイアウォールが検出されました] 画面が表示されたら、[ファイアウォールの設定を本製品と通信を行えるように変更し、インストールを続行します。(推奨)] を選択し、[次へ] をクリックします。
Windows ファイアウォールを使用していない場合は、UDP ポート 137 および 161 へのアクセスを許可します。



- 11 一覧からプリンターを選択し、[次へ] をクリックします。



メモ

- 無線設定に失敗した場合、画面が表示されます。画面の指示にしたがって、無線設定を完了してください。
- WEP を使用しているにもかかわらず、お使いのプリンターが見つからない場合は、WEP キーを正しく入力しているかどうかを確認してください。

- 12 画面の指示にしたがって、設定を完了します。



インストール中に表示される画面について、表示にしばらく時間がかかる場合がありますが、どの画面も決してキャンセルしないでください。

メモ

Windows 7 をお使いの方へ：
[Windows セキュリティ] 画面が表示されたら、インストールを正しく完了するために、チェックボックスにチェックを入れて、[インストール] をクリックしてください。

これでインストールは完了です。

メモ

- セキュリティ設定の内容によっては、Windows セキュリティやアンチウイルスソフトウェアの画面が表示されることがあります。許可をして、インストールを続行してください。
- 複数台のプリンターに無線 LAN 設定をする場合：

USB 接続でプリンタードライバーとプリンター設定ツールをインストールしたあと、通信設定を使用すると、複数のプリンターに対し、簡単に設定を行うことができます。

ウェブブラウザで管理する

本機に搭載されている Web サーバーで、HTTP（ハイパーテキスト転送プロトコル）を使用して、本機の状態を管理したり、設定の一部を変更したりできます。



メモ

Windows の場合は、Microsoft® Internet Explorer® 7.0/8.0 または Firefox 3.6 を推奨します。また、JavaScript と Cookie が有効であることを確認してください。Web ブラウザを使用するには、本機の IP アドレスを知っておく必要があります。IP アドレスは、ネットワーク設定一覧に表示されます。

- 1 ウェブブラウザを起動します。
- 2 ウェブブラウザのアドレス欄に、「`http://xxx.xxx.xxx.xxx/`」と入力します。
（「`xxx.xxx.xxx.xxx`」は、ご使用になる本機の IP アドレスです。）
■ 例：`http://192.168.1.2/`
- 3 オプションのネットワークパスワードを設定している場合は、ウェブブラウザ（Web Based Management）へアクセスするときに、パスワードを入力する必要があります。

詳しくは、ネットワークユーザズガイドの「ウェブブラウザで管理する」をご覧ください。

RJ-4030Ai プリンター ドライバーとソフトウェアをインストールする

- 1 ソフトウェアのインストーラーとマニュアルは、弊社ホームページ（[install.brother](#)）からダウンロードできます。
- 2 ダウンロードした .exe ファイルをダブルクリックし、画面の指示に従ってインストールしてください。インストールする項目を選択するダイアログボックスで、必要なソフトウェアを選択します。



メモ

もしインストールを続けるかどうかの確認画面が表示されましたら、インストールを続けてください。

RJ-4030 プリンタードライバーとソフトウェアをインストールする

RJ-4030 のプリンタードライバーとソフトウェアは、次のいずれかの方法でインストールできます。

- USB ケーブル接続
- Bluetooth® 接続

ソフトウェアのインストール手順は、お使いのパソコンの OS によって異なります。

また、インストールの手順は、予告なく変更されることがあります。



管理者権限でログインしていることをご確認ください。

この項では、「標準インストール」を使ってインストールする方法を説明しています。「標準インストール」では、P-touch Editor、日本語フォント、プリンタードライバー、P-touch Update Software およびプリンター設定ツールがインストールされます。「標準インストール」を使って頂くことで、プリンターの利用者として必要なソフトウェアを全て一度にインストールできます。

以下の手順は、Windows 7 を例にとっています。他の OS をお使いの場合は、類推してください。

- 1 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに挿入します。



メモ

画面が自動で表示されないときは、CD-ROM ドライブをダブルクリックし、[start.exe] をダブルクリックしてください。

- 2 [標準インストール]をクリックします。



メモ

- 各ボタンを選択して行われる内容は、以下のとおりです。

1 標準インストール

P-touch Editor、日本語フォント、プリンタードライバー、P-touch Update Software、プリンター設定ツールを一括してインストールします。

2 ユーザーズガイド

ユーザーズガイド、ソフトウェアユーザーズガイドを表示します。

3 個別インストール

P-touch Editor、日本語フォント、プリンタードライバー、P-touch Update Software、プリンター設定ツールを個別に選んでインストールします。

4 サービスとサポート

サポートサイトへのリンクを表示します。

- 本機の設定をするには、プリンタードライバーのインストールが必要ですので、ご注意ください。

- 3 使用許諾の内容を確認し、[同意] をクリックします。

- 4 [インストール] をクリックし、画面の指示にしたがってインストールを進めます。

- 5 接続方法の選択画面が表示されたら、接続方法を選択して「次へ」をクリックします。

接続方法：

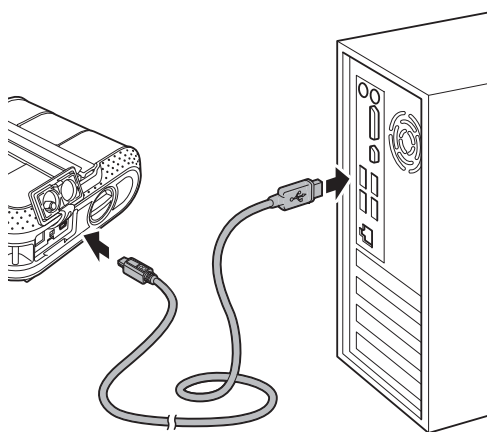
1 **USB ケーブル**

2 **Bluetooth** (仮想シリアルポート)

「**USB ケーブル**」を選択した場合は、6 へお進みください。

「**Bluetooth** (仮想シリアルポート)」を選択した場合は、画面の指示にしたがってインストールを完了させてください。個々のパソコンと Bluetooth で接続する方法については、「本機とパソコンを接続する」の「Bluetooth® で接続する (RJ-4030Ai/4030 のみ)」(▶▶25 ページ)をご覧ください。

- 6 画面の指示にしたがって本機を USB ケーブルでパソコンに接続し、電源を入れ、プリンタードライバーのインストールを完了させます。



- 7 「完了」をクリックします。
これでインストールは完了です。

 メモ

パソコンの再起動についてのメッセージが表示される場合は、「再起動」を選択して、「完了」をクリックします。

操作パネル

操作パネルには、以下のボタンと表示ランプがあります。

RJ-4040	RJ-4030Ai/4030
1 電源ボタン (⏻)	
2 フィードボタン (⏮)	
3 電源表示ランプ (POWER)	
4 状態表示ランプ (STATUS)	
5 充電表示ランプ (BATT)	
6 RJ-4040: Wi-Fi 表示ランプ (📶 Wi-Fi 📶)	RJ-4030Ai/4030: Bluetooth 表示ランプ (📶)
7 RJ-4040: Wi-Fi ボタン	RJ-4030Ai/4030: Bluetooth ボタン

表示ランプについて

RJ-4040



RJ-4030Ai/4030



各表示ランプは緑色、赤色、オレンジ色、または青色で点灯したり、点滅して、本機の状態を示します。詳しくは、「表示ランプ」(▶▶50 ページ) をご覧ください。

ボタンの機能

電源ボタン (⏻) の機能	操作
電源を入れる	本機の電源が切れている状態で、電源表示ランプ (POWER) が点灯するまで電源ボタン (⏻) を長押しします。
電源を切る	本機の電源が入っている状態で、電源表示ランプ (POWER) が消灯するまで電源ボタン (⏻) を長押しします。(RJ ユーティリティで、自動電源オフ機能が設定されている場合は、設定された時間を経過すると自動的に電源が切れます。)

フィードボタン (⏮) の機能	操作
用紙を送る	プリンター本体で、用紙の種類が [ダイカットラベル] または [マーク付きメディア] に設定されている場合： フィードボタン (⏮) を押すと、用紙が印刷位置まで自動的に送られます。 用紙の種類が [長尺テープ] に設定されている場合： フィードボタン (⏮) を押すと、用紙が一定量送られます。 約 25.4mm (1 インチ) 搬送します。 工場出荷時の初期値は、[ダイカットラベル] になっています。
本体設定を印刷する	ロール紙がセットされていることを確認し、フィードボタン (⏮) を長押しすると、本体設定の印刷が開始されます。詳しくは、「本体設定情報の印刷」 (▶▶55 ページ) をご覧ください。

Bluetooth ボタンの機能 (RJ-4030Ai/4030 のみ)	操作
Bluetooth® 通信を使用して印刷する	本機とパソコンが Bluetooth® で接続されていない状態でこのボタンを押すと、Bluetooth® 接続が確立され、データの送信ができます。詳しくは、「Bluetooth® で接続する (RJ-4030Ai/4030 のみ)」 (▶▶25 ページ) をご覧ください。
Bluetooth® 通信を終了する	本機とパソコンが Bluetooth® で接続されている状態でこのボタンを押すと、Bluetooth® 通信を終了します。
マスのストレージ領域に保存したファイルを実行する	本機がマスのストレージモードで起動している状態でこのボタンを押すと、マスのストレージ領域に保存したコマンドファイルを実行します。

Bluetooth ボタンの機能 (RJ-4030Ai のみ)	操作
Bluetooth 自動再接続機能の有効・無効を切り替える	Bluetooth 機能がオンであることを確認します。 Bluetooth ボタンを 5 秒間押します。 無効設定時は Bluetooth 表示ランプが消灯し、電源オフされます。 有効設定時は一回 Bluetooth 表示ランプが点滅した後電源オフになります。

Wi-Fi ボタンの機能 (RJ-4040 のみ)	操作
WPS 機能を使用して簡単に無線通信の設定をする	このボタンを長押しするだけで Wi-Fi® の設定ができ、プリンタードライバーやソフトウェアのインストールが簡単にできます。詳しくは、「RJ-4040 プリンタードライバーとソフトウェアをインストールする」(▶▶6 ページ) をご覧ください。
Wi-Fi® 通信を使用して印刷する	本機とパソコンが Wi-Fi® で接続されていない状態でこのボタンを押すと、接続が確立され、データの送信ができます。
Wi-Fi® 通信を終了する	本機とパソコンが Wi-Fi® で接続されている状態でこのボタンを押すと、通信を終了します。
マスのストレージ領域に保存したファイルを実行する	本機がマスのストレージモードで起動している状態でこのボタンを押すと、マスのストレージ領域に保存したコマンドファイルを実行します。

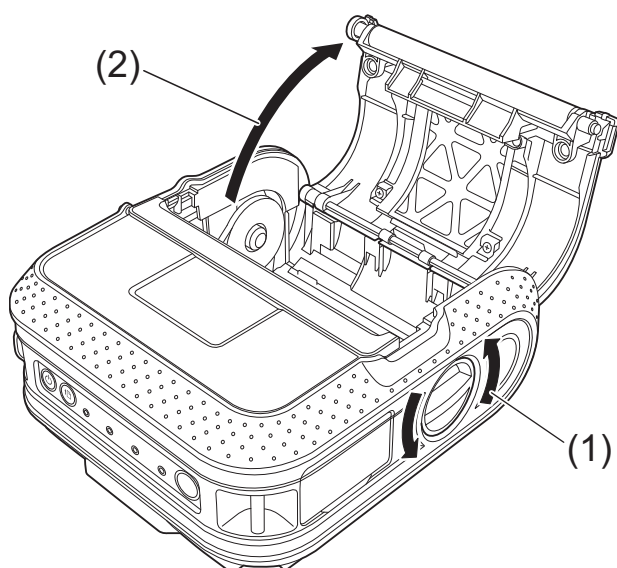
複数のボタンを使うもの	操作
本機をマスのストレージモードで起動する	電源ボタン (⏻) を長押ししながら Wi-Fi ボタン / Bluetooth ボタンを押すと、本機がマスのストレージモードで起動します。詳しくは、「マスのストレージ機能」(▶▶46 ページ) をご覧ください。

用紙をセットする

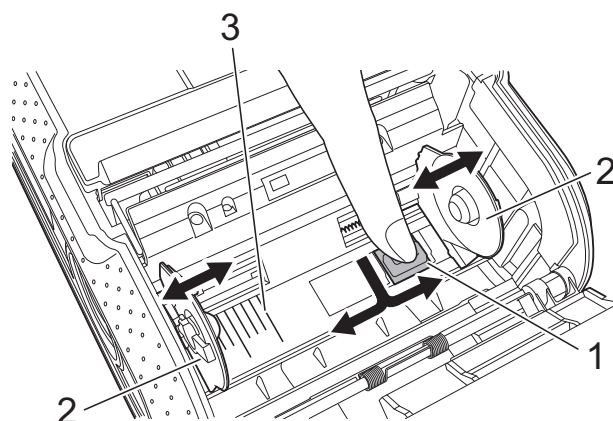


用紙は、弊社の純正品をご使用ください。
ただしブラザー純正品のファンフォールド紙は取り扱っておりません。

- 1 電源ボタン (⏻) を長押しして、電源を切ります。
カバーオープンレバーを回し (1)、ロール紙カバーを開けます (2)。



- 2 用紙幅ガイド調整ロックを矢印の方向へ押しながら左右へ動かすと、用紙幅ガイドが連動します。本機内側に刻まれている目盛りを見ながら、用紙幅ガイドを用紙幅に合うように調整します。

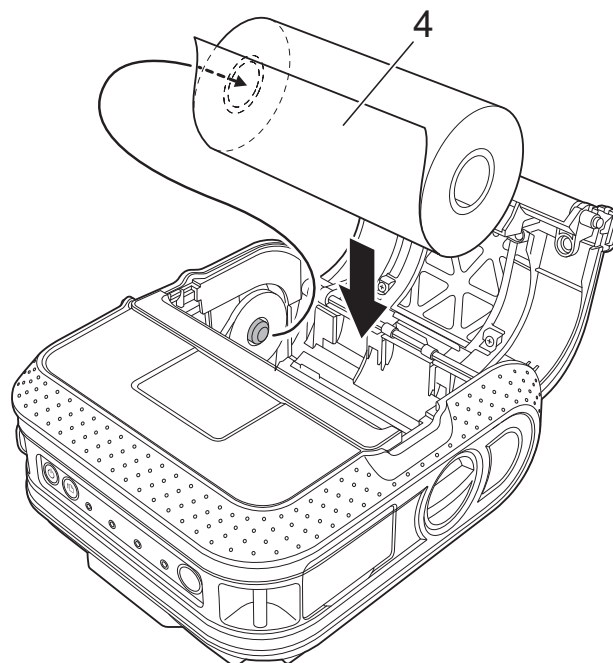


- 1 用紙幅ガイド調整ロック
- 2 用紙幅ガイド
- 3 目盛り

- 3 用紙をセットして、ロール紙カバーを閉めます。

■ RD ロールの場合

- 1 図のように、印刷面を下にして RD ロールを挿入します。

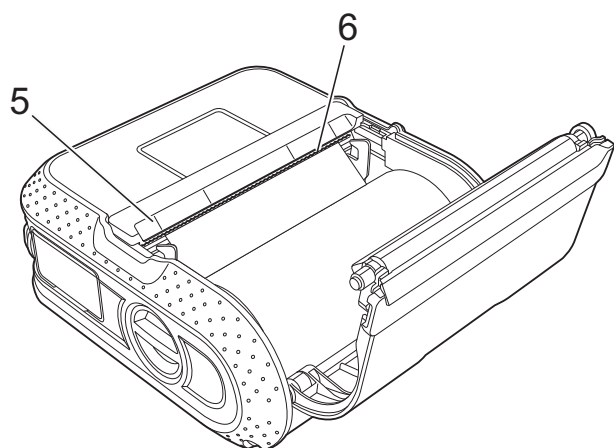


4 印刷面



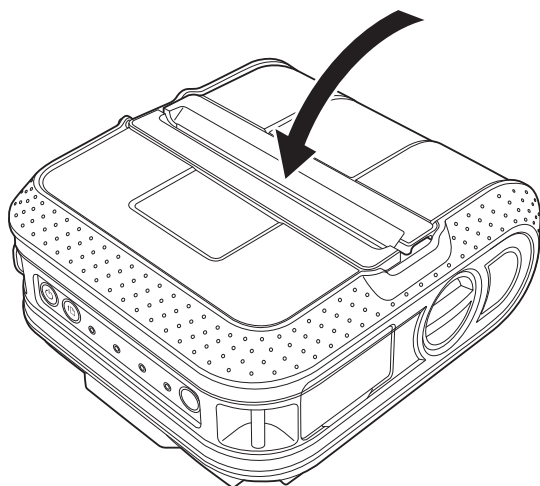
- RD ロールは、最大外形 58mm 以下のものをお使いください。同じ RD ロールでも、ご利用になれないものがあります。
- RD ロールがずれないように、用紙幅ガイドの位置を確認、調整してください。
- RD ロールは正しい向きで挿入してください。挿入する向きを間違えると、正しい面に印刷されません。
- プレカット紙ラベル (定形ラベル) をお使いの場合、ラベル幅ではなく、ロールの幅に合わせて設定してください。

- 2** ガイドラインを目安にして、RD ロールをまっすぐになるようにセットします。



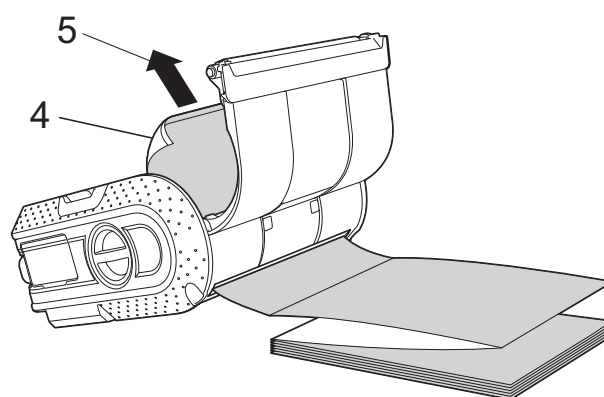
- 5** ガイドライン
6 ティアバー

- 3** ロール紙カバーの中央を押して、カバーを閉めます。カチッと音になるまでしっかり押してください。



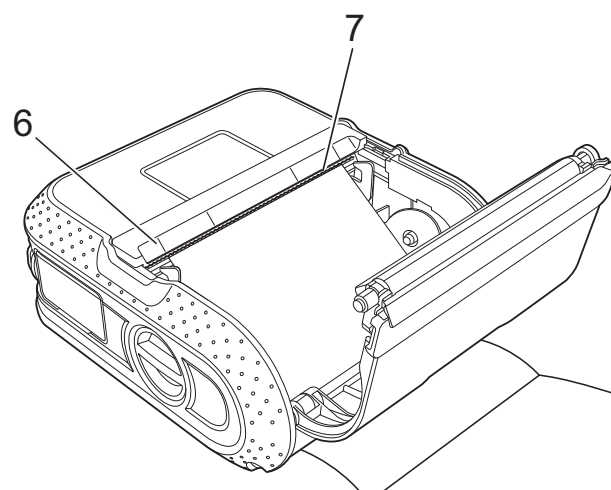
■ ファンフォールド紙の場合

- 1** 図のような向きで、ファンフォールド紙を挿入します。



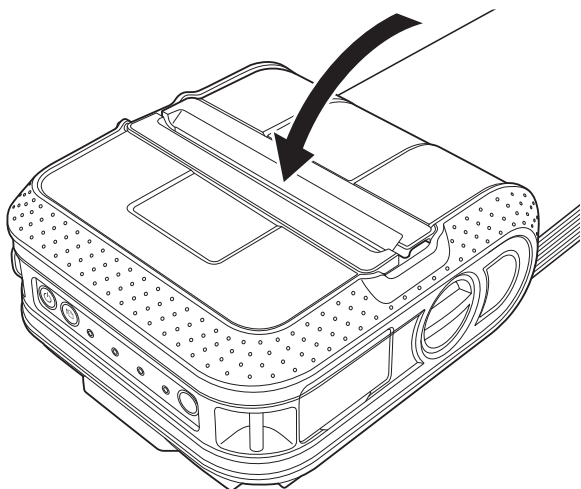
- 4** 印刷面
5 印刷方向

- 2** ガイドラインを目安にして、ファンフォールド紙をまっすぐになるようにセットします。



- 6** ガイドライン
7 ティアバー

- 3 ロール紙カバーの中央を押して、カバーを閉めます。
カチッと音になるまでしっかり押してください。



- 4 電源ボタン (⏻) を長押しして、電源を入れます。



メモ

プレカット紙ラベル（定型ラベル）をご使用の場合は、RD ロールを挿入したあと、フィードボタン (⏻) を押すと、ラベルが印刷可能な位置にセットされます。

ロール紙をカットするには

ロール紙は、本機のティアバーを使用して切り取ることができます。排出された用紙の片側を持って、反対側へ斜め上に引っ張ります。



ティアバーには直接手を触れないでください。ケガをするおそれがあります。

本機とパソコンを接続する

本機は、USB ケーブル、Bluetooth® (RJ-4030Ai/4030 のみ)、Wi-Fi® (RJ-4040 のみ)、シリアルケーブルのいずれかで接続することができます。



本機をパソコンに接続する前に、プリンタードライバーをインストールしてください。

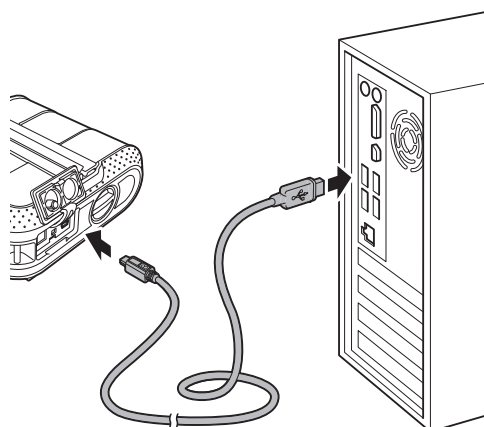


メモ

Bluetooth® で接続した場合は、本機の電源を切ったあとも、設定が保存されません。

USB で接続する

- 1 USB ケーブルを接続する前に本機の電源が入っていないことを確認します。
- 2 USB ケーブルを本機の側面の USB ポートに接続します。
- 3 USB ケーブルの反対側をパソコンの USB ポートに接続します。



Bluetooth®で接続する (RJ-4030Ai/4030 のみ)

メモ

お使いになる Bluetooth® アダプターや Bluetooth® 搭載パソコンのメーカーの推奨にしたがって、必要なハードウェアやソフトウェアをインストールしてください。

Bluetooth® 管理ソフトウェアを使用し、次の手順にしたがって、本機とパソコンのペアリングを行います。

- ① 電源ボタン (⏻) を長押しして本機の電源を入れ、Bluetooth ボタンを長押しします。
- ② お使いの Bluetooth® 管理ソフトウェアを使用して本機を検索し、接続の設定をします。

メモ

接続設定時に、パスキー (PIN コード) 入力画面が表示されたら、本機に設定されているパスキーを入力してください。パスキーの初期値はシリアル番号の下 4 桁です。

- ③ パソコンを使用する場合は、Bluetooth 接続画面で、本機への接続方法として「シリアルポート」を選択します。

メモ

- COM ポート番号が表示されたら、メモしておいてください。(パソコンや携帯端末の種類によっては、印刷時に COM ポート番号が必要な場合があります。)
- 接続やポート名の設定について詳しくは、Bluetooth® 管理ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

- Bluetooth で検索できない場合は、他の端末と接続している可能性があります。接続している端末から Bluetooth を切断するか、プリンターの電源を入れなおしてください。

印刷時に Bluetooth® を使用して通信するには

本機は、電源を入れて直ぐには、Bluetooth® で通信して印刷することができません。Bluetooth® で印刷をするには、まず下記の操作により、Bluetooth® で通信できる状態にします。一旦接続すると電源を切るまで、接続したままとなり、他のパソコンからは検索できません。

- ① 電源ボタン (⏻) を長押しして本機の電源を入れ、Bluetooth ボタンを押します。
- ② お使いの Bluetooth® 管理ソフトウェアを使用して本機を検索します。Bluetooth® 通信が開始されます。

Wi-Fi®で接続する (RJ-4040 のみ)



本機とお使いのアクセスポイントまたはルーターとで通信するには、まずプリンタードライバーとプリンター設定ツールをインストールする必要があります。詳しくは、「RJ-4040 プリンタードライバーとソフトウェアをインストールする」(▶▶6 ページ)をご覧ください。

- 1 本機の電源ボタン (Ⓛ) を長押しして本機の電源を入れ、Wi-Fi ボタンを押します。
Wi-Fi® 通信が開始されます。



メモ

- 本機のネットワーク設定は、ネットワーク設定ツールで変更することができます。詳しくは、「通信設定 (RJ-4040 のみ)」(▶▶39 ページ)をご覧ください。
- 通信設定を使用すると、ネットワーク設定の変更を、簡単に複数のプリンターに適用することもできます。詳しくは、「複数台のプリンターに設定の変更を適用する」(▶▶41 ページ)をご覧ください。

- 3 シリアルケーブルの反対側をパソコンのシリアルポートに接続します。



メモ

- 出荷時の通信の設定は以下のとおりです。
ボーレート：9600bps
パリティ：なし
ビット長：8bit
フロー制御：ハードウェア
- 通信の設定を変更するには、P-touch Template コマンドリファレンスを参照ください。
最新版は弊社ホームページのサポートサイトからダウンロードすることができます。
support.brother.co.jp
製品を選択し、[製品マニュアル]を選択

シリアルケーブルで接続する



ケーブルはブラザーの専用オプション品をご使用ください。

- 1 シリアルケーブルを接続する前に、本機とパソコンの電源が入っていないことを確認します。
- 2 シリアルケーブルを本機の側面のシリアルポートに接続します。

印刷について

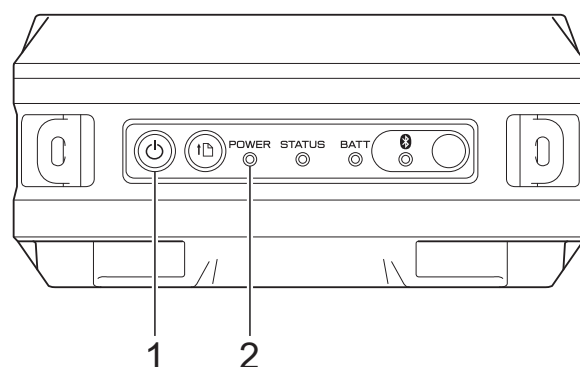
本機は複数バージョンの Windows OS に対応しています。

通常、本機はパソコンとの通信時にドライバーソフトウェアを必要とします。ドライバーソフトウェアはセットアップ CD-ROM を使用してインストールすることができます。各ソフトウェアは、最新版をご使用になることをお勧めします。各ソフトウェアの最新版は弊社ホームページのサポートサイト (support.brother.co.jp) からダウンロードすることができます。

印刷する

本機の印刷では、様々な方法を提供しておりますが、通常パソコンから印刷する場合は、次の手順になります。

- ① P-touch Editor を起動し、印刷したいデータを編集します。
P-touch Editor の使い方は、付属の CD-ROM に収録されているソフトウェアユーザーズガイドをご覧ください。
- ② 本機の電源供給を確認します。(充電された充電電池を装着するか、または、アダプターを通じて給電されていることを確認ください。)
- ③ 本機の電源を入れます。電源表示ランプ (POWER) が緑色で点灯します。



- 1 電源ボタン (⏻)
- 2 電源表示ランプ (POWER)

USB 接続、シリアル接続、Bluetooth® 接続 (RJ-4030Ai/4030 のみ)、または Wi-Fi® 接続 (RJ-4040 のみ) で本機とパソコンを接続します。
詳しくは、「本機とパソコンを接続する」 (▶▶24 ページ) をご覧ください。

- ④ 用紙をセットします。
詳しくは、「用紙をセットする」 (▶▶22 ページ) をご覧ください。
用紙は弊社の純正品をご使用ください。

- 5 必要に応じて、プリンタードライバーや RJ ユーティリティ（「RJ ユーティリティ」(▶▶32 ページ) をご覧ください。) で印刷設定を変更してください。

- 6 パソコンのアプリケーションメニューから [印刷] を選択します。

本機がデータを受信すると、電源表示ランプ (POWER) が緑色に点滅し、印刷を開始します。

- 7 本機の電源を切ります。電源表示ランプ (POWER) が消灯します。そのまま続けてご利用になる場合は、電源を毎回切っていただく必要はありません。



メモ

プリンタードライバーを使用しないで JPEG 印刷を行う場合は、「JPEG 印刷」(▶▶47 ページ) をご覧ください。

プリンタードライバーの設定

プリンタードライバーの画面で、用紙サイズ、印刷部数、印刷品質などの設定を行うことができます。

また、用紙サイズ設定や RJ ユーティリティを使用すると、より詳細な設定が可能です。詳しくは、「用紙サイズを設定する」(▶▶29 ページ) および「RJ ユーティリティ」(▶▶32 ページ) をご覧ください。

印刷濃度の設定について

印刷濃度はプリンタードライバー設定画面および RJ ユーティリティ（「印字濃度」(▶▶33 ページ) をご覧ください。）で設定することができます。

充電池を使用して印刷を行う場合は、印刷濃度設定によっては、印刷速度や 1 回の充電で印刷できる最大ページ数に影響を与えます。

用紙サイズを設定する

プリンタードライバーの「用紙サイズ」リストにご希望の用紙サイズがない場合、本機は、次の手順で用紙サイズを設定して追加することができます。通常のプリンターにあるような用紙設定と異なり、本機での用紙追加には、本体に用紙情報を送る必要があります。

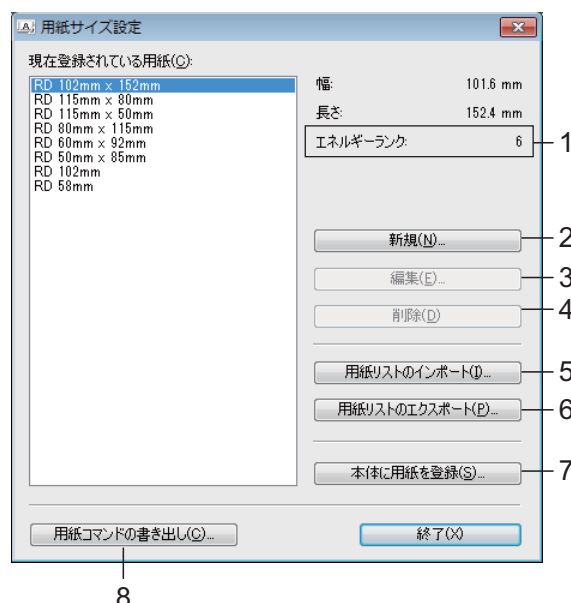
本機に登録されていない用紙情報を元に、印刷された場合は、意図した印刷結果を得られない場合がございます。

- 1 設定対象となるプリンターを、USB でパソコンと接続します。
- 2 Windows 7/Windows Server 2008/Windows Server 2008 R2 の場合
スタートボタンから、[すべてのプログラム] - [Brother] - [Label & Mobile Printer] - [Printer Setting Tool] をクリックします。

Windows 8/Windows 8.1/Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2 の場合
[アプリ] 画面で [Printer Setting Tool] のアイコンをクリックします。

Windows 10 の場合
スタートボタンから [すべてのアプリ] を選択し、[Brother] - [Label & Mobile Printer] - [Printer Setting Tool] をクリックします。

- 3 手順 ① で接続したプリンターを選択します。
- 4 [用紙サイズ設定] ボタンをクリックします。
[用紙サイズ設定] 画面が表示されます。



- 1 エネルギーランク
選択した用紙フォーマットの「エネルギーランク」の現在設定が表示されます。
- 2 新規
新しい用紙の情報を登録します。

	既存の用紙と同じサイズの用紙は作成しないでください。意図しない印刷結果になることがあります。 既存の用紙と同じサイズの用紙を使用したい場合は、[用紙サイズ設定] 画面の [現在登録されている用紙] リストから、お望みのサイズを選択し、[編集] 画面で設定を変更してください。
--	---

- 3 編集
選択している用紙の情報を編集します。用紙の情報を上書きして登録するには、[上書き] をクリックします。用紙の情報を変更して新たに登録するには、[用紙名] の名前を変更して [追加] をクリックします。
あらかじめ登録されている RD ロールの情報は編集できません。
- 4 削除
選択している用紙の情報を削除します。削除した用紙の情報は復元できません。

5 用紙リストのインポート

用紙の情報が記載されたテキストファイル（RJ-4040: BSR404ed.txt、RJ-4030Ai: BSR403aied.txt、RJ-4030: BSR403ed.txt）を読み込んで、**「現在登録されている用紙」**の情報を置き換えます。



リストをインポートすると、**「現在登録されている用紙」**の情報がすべて置き換えられます。

6 用紙リストのエクスポート

「現在登録されている用紙」の情報をエクスポートします。エクスポートした情報は、他のパソコンに配布することができます。詳しくは、「用紙サイズの設定を配布する」（▶▶31 ページ）をご覧ください。

7 本体に用紙を登録

選択している用紙の情報を本機に登録します。

8 用紙コマンドの書き出し

用紙の設定内容を追加コマンドのファイルとして保存します。
拡張子は、「.bin」です。



メモ

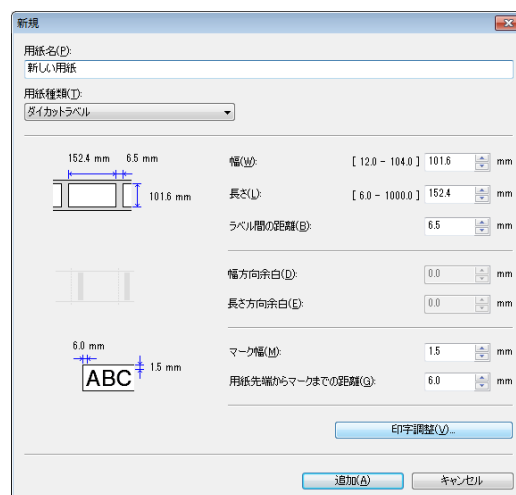
以下の機能を使用すると、これらの設定を簡単に本機に適用することができます。

- ・マストストレージ機能（「マストストレージ機能」（▶▶46 ページ）をご覧ください。）
- ・Bluetooth®（OPP（オブジェクトプッシュプロファイル）を使用）
- ・Wi-Fi®（FTP（ファイルトランスファプロファイル）を使用）

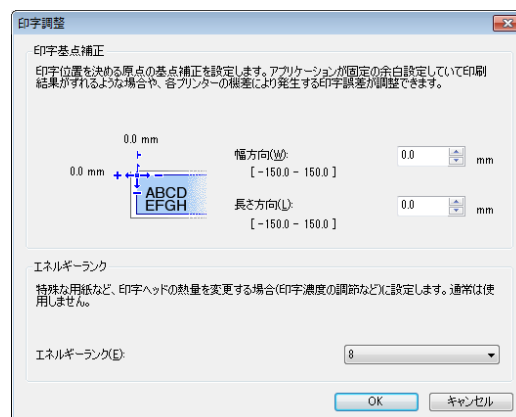


これらの設定コマンドは、本機に設定を適用するためのものです。これらのコマンドを用紙サイズ設定にインポートすることはできません。

- 5 **「新規」**をクリックします。
「新規」画面が表示されます。



- 6 **「印字調整」**をクリックすると、用紙ごとに以下の設定ができます。
「印字基点補正」では、印字位置を調整できます。



- 7 **「エネルギーランク」**では、印字エネルギー（濃度）を調整できます。
- 8 使用する用紙の情報を入力し、**「追加」**をクリックします。
用紙の情報が追加されます。
- 9 **「終了」**をクリックします。



メモ

「用紙サイズ設定」画面をもう一度表示させると、追加した用紙が**「現在登録されている用紙」**リストに反映されます。実行中のアプリケーションがある場合は、いったん終了してもう一度起動すると、追加した用紙が反映されます。

用紙サイズの設定を配布する

エクスポートした「現在登録されている用紙」の情報を、他のパソコンに配布することができます。

用紙サイズの設定のみを配布する

配布先のパソコンにプリンタードライバーがインストールされているときは、用紙の情報のみを配布します。

- 1 配布元のパソコンでフォーマットの各項目を設定し、[用紙リストのエクスポート] をクリックします。
詳しくは、「用紙サイズを設定する」(▶▶29 ページ) をご覧ください。
下記のファイルが作成されます。
RJ-4040:
BSR404ed.txt, BSR404ed.ptd,
pdt3237.bin
RJ-4030Ai:
BSR403aied.txt, BSR403aied.ptd,
pdt3537.bin
RJ-4030:
BSR403ed.txt, BSR403ed.ptd,
pdt3137.bin
- 2 BSR404ed.txt、BSR403aied.txt、または BSR403ed.txt を、配布先のパソコンの任意の場所に保存します。
- 3 配布先のパソコンで、[用紙リストのインポート] をクリックします。
フォーマットが置き換えられます。

用紙サイズの設定をインストーラーに組み込んで配布する (RJ-4040/4030)

配布先のパソコンにプリンタードライバーがインストールされていないときは、用紙の情報をプリンタードライバーのインストーラーに組み込んで配布します。

次の手順内の「RJ-XXXX」はご購入のモデル名に置き換えてお読みください。

- 1 配布元のパソコンでフォーマットの各項目を設定し、[用紙リストのエクスポート] をクリックします。
詳しくは、「用紙サイズを設定する」(▶▶29 ページ) をご覧ください。
下記のファイルが作成されます。
RJ-4040:
BSR404ed.txt, BSR404ed.ptd,
pdt3237.bin
RJ-4030:
BSR403ed.txt, BSR403ed.ptd,
pdt3137.bin
- 2 配布元のパソコンの CD-ROM ドライブに、CD-ROM を挿入します。
- 3 [CD ドライブ] :your language\Drivers\RJ-XXXX フォルダを、配布元のパソコンの任意の場所にコピーします。
- 4 手順 ① で作成された 3 つのファイルを、手順 ③ でコピーした [RJ-XXXX\x64\custom] フォルダと [RJ-XXXX\x86\custom] フォルダに上書きします。
- 5 [RJ-XXXX] フォルダを、配布先のパソコンの任意の場所に保存します。
- 6 配布先のパソコンで、[dsetup.exe] をダブルクリックします。
画面の指示にしたがって、インストールしてください。

概要

RJ ユーティリティは、本機の初期設定値を変更することができるプログラムです。

パソコンのアプリケーションを使用して文書を印刷する場合は、プリンタードライバー画面で印刷設定を行ってから、データを本機に送信して印刷します。

RJ ユーティリティは、プリンタードライバー画面で設定する印刷設定より、さらに詳細な設定を行う場合に使用します。



RJ ユーティリティの設定は本機が待機状態のときに行ってください。本機の動作中に設定を行うと誤動作の原因となります。

RJ ユーティリティを使用する

RJ ユーティリティをお使いになる前に

- ACアダプターを用いて本機を電源コンセントに接続するか、充電電池が十分に充電されていることを確認してください。
- プリンタードライバーがインストールされていて、使用できる状態であることを確認してください。
- 本機を USB 接続または Bluetooth® 接続 (RJ-4030Ai/4030 のみ) でパソコンと接続してください。

RJ ユーティリティを起動する

- ① 設定対象となるプリンターをパソコンに接続します。
- ② Windows 7/Windows Server 2008/Windows Server 2008 R2 の場合

スタートボタンから、[すべてのプログラム] - [Brother] - [Label & Mobile Printer] - [Printer Setting Tool] をクリックします。

Windows 8/Windows 8.1/Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2 の場合

[アプリ] 画面で [Printer Setting Tool] のアイコンをクリックします。

Windows 10 の場合

スタートボタンから [すべてのアプリ] を選択し、[Brother] - [Label & Mobile Printer] - [Printer Setting Tool] をクリックします。

- ③ 手順 ① で接続したプリンターを選択します。
- ④ [本体設定] ボタンをクリックします。メイン画面が表示されます。
(詳しくは、「メイン画面」
(▶▶33 ページ) をご覧ください。)

RJ ユーティリティの使いかた

- ① RJ ユーティリティのメイン画面で、設定したい項目のチェックボックスにチェックを入れます。
- ② プルダウンリストからご希望の設定を選択、または数値を入力します。
- ③ [設定] をクリックして、本機に設定を送信します。



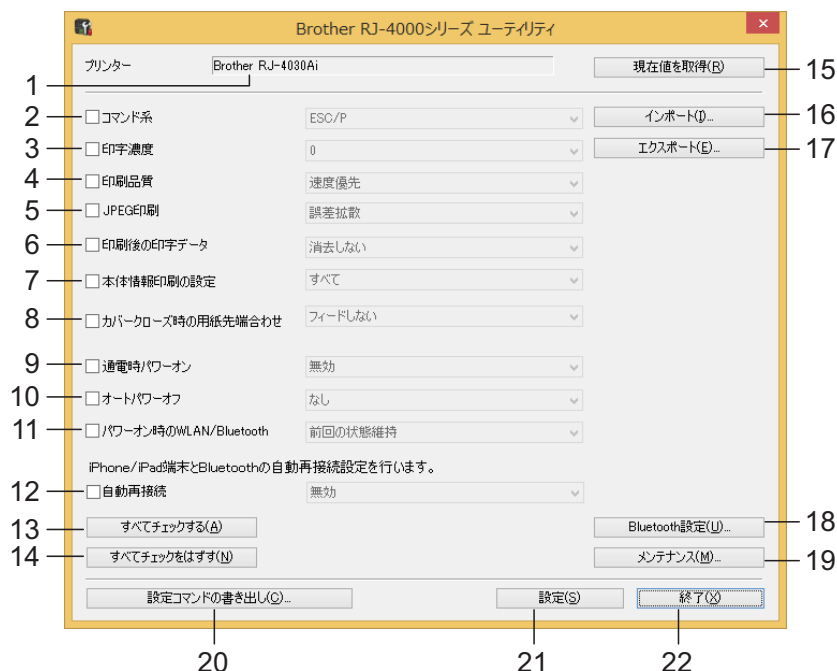
メモ

RJ ユーティリティを終了すると設定が保存され、次回起動したときに終了時の設定が適用されます。

ただし、RJ ユーティリティの起動時に、あらかじめプリンターが接続されている場合は、そのプリンターの設定が適用されますので、ご注意ください。

設定項目

メイン画面



1 ～ 11 の項目において、太字のものが初期値になります。
ただし初期値は予告なく変更となる場合があります。

1 プリンター

プリンター設定ツールで選択したプリンターを表示します。

2 コマンド系

プリンターのコマンド系を設定します。
設定項目：[ラスター]、[**ESC/P**]、[P-touch Template]

3 印字濃度

プリンターの印刷濃度の補正値を設定します。
設定範囲：-5 ～ +5（初期値は 0）

4 印刷品質

プリンターの印刷品質を設定します。
設定項目：[**速度優先**]、[品質優先]



メモ

この設定は、プリンタードライバーでもできますが、プリンターの電源を切ると設定が消去されます。**RJ ユーティリティ**で設定すれば、プリンターの電源を切ったあとも設定が保持されます。プリンタードライバーを使用しないで印刷したい場合は、**RJ ユーティリティ**で設定を変更してください。

5 JPEG 印刷

Bluetooth® またはマストレージ機能で JPEG ファイルを印刷したときの画像処理を設定します。
設定項目：[単純二値]、[誤差拡散]

6 印刷後の印字データ

印刷が完了したあと、自動的に印刷データを消去するかどうかを設定します。

設定項目：[消去する]、[消去しない]

7 本体情報印刷の設定

本体設定印刷を行ったとき、表示される本体情報の項目を設定します。

設定項目：[すべて]、[使用履歴]、[本体設定]、[本体転送データ]

詳しくは、「本体設定情報の印刷」(▶▶55 ページ)をご覧ください。

8 カバークローズ時の用紙先端合わせ

カバーを閉じたとき、用紙を自動でフィードするかどうかを設定します。

設定項目：[フィードしない]、[フィードする]

9 通電時パワーオン

電源ケーブルをさしたとき、プリンターの電源が自動的に入るかどうかを設定します。

設定項目：[無効]、[有効]

10 オートパワーオフ

自動で電源が切れるまでの時間を設定します。

設定項目：[なし]、10 分～60 分 (10 分刻み)

11 パワーオン時の WLAN/Bluetooth

本機の電源が入ったときの、Wi-Fi® および Bluetooth® の起動条件を設定します。

設定項目：[常に ON]、[常に OFF]、[前回の状態維持]

12 自動再接続

iPhone/iPad 端末と Bluetooth の自動再接続設定を行います。

設定項目：[無効]、[有効]

13 すべてチェックする

すべてのチェックボックスにチェックを入れます。

14 すべてチェックをはずす

すべてのチェックボックスからチェックをはずします。

15 現在値を取得

本機の現在の設定内容を読み込み、それぞれのコンボボックスに適用します。

16 インポート

エクスポートしたファイルを読み、その設定をプリンターに適用します。

17 エクスポート

現在の設定をファイルに保存します。

18 Bluetooth 設定

[Bluetooth 設定] 画面を表示します。

詳しくは、「Bluetooth 設定画面 (RJ-4030 のみ)」(▶▶36 ページ)をご覧ください。

19 メンテナンス

[メンテナンス] 画面を表示します。

詳しくは、「メンテナンス画面」(▶▶37 ページ)をご覧ください。

20 設定コマンドの書き出し

選択した (チェックを入れた) 項目の内容を「.bin」形式のコマンドファイルに保存します。

ただし、Bluetooth® の設定は保存されません。

**メモ**

以下の機能を使用すると、これらの設定を簡単に本機に適用することができます。

- マスストレージ機能 (「マスストレージ機能」(▶▶46 ページ)をご覧ください。)
- Bluetooth® (OPP (オブジェクトプッシュプロファイル) を使用)
- Wi-Fi® (FTP (ファイルトランスファープロファイル) を使用)



これらの設定コマンドは、本機に設定を適用するためのものです。これらのコマンドを RJ ユーティリティにインポートすることはできません。

21 設定

選択した (チェックを入れた) 設定をプリンターに送信します。

22 終了

RJ ユーティリティを終了します。各項目のチェック状態と値は保存されます。

Bluetooth 設定画面 (RJ-4030Ai のみ)

The screenshot shows the 'Bluetooth設定' (Bluetooth Settings) window. It is divided into four numbered sections on the right:

- 1 Bluetooth PINコード**: Includes 'Bluetooth 2.0以前の設定' (Bluetooth 2.0 or earlier settings) with a PIN code field and 'Bluetooth 2.1以降の設定' (Bluetooth 2.1 or later settings) with a checkbox for 'ペアリング時に本体キーの操作を要求する(E)' (Require operation of the main body key when pairing).
- 2 Bluetooth デバイス名**: Includes a device name field.
- 3 他のデバイスからの検索**: Includes a dropdown menu for search permissions (currently set to 'できる' - Allowed).
- 4 Bluetooth アドレス**: Includes a Bluetooth address field.

Each section has a '現在値' (Current value) button and a '設定する' (Set) button. A '閉じる(S)' (Close) button is at the bottom.

1 Bluetooth PIN コード

PIN コード

Bluetooth バージョン 2.0 以前に準拠するデバイスとペアリングする際に使用する PIN コードを指定します。

ペアリング時に本体キーの操作を要求する

このチェックボックスを選択した場合、Bluetooth バージョン 2.1 以降に準拠するデバイスとペアリングする際、プリンターのキー操作（認証作業）が必要です。

2 Bluetooth デバイス名

プリンターに 30 文字（30 バイト）以内で名前を設定できます。複数の Bluetooth 対応プリンターが接続している場合、目的のプリンターを特定するのに便利です。

3 他のデバイスからの検索

他の Bluetooth 対応デバイスからの検索を許可するか設定します。

4 Bluetooth アドレス

Bluetooth アドレスの現在値を表示します。



メモ

PIN コードとデバイス名には、英数字のみを使用してください。（A ~ Z、a ~ z、0 ~ 9）

デバイス名にはスペースを使用できません。PIN コードではスペースは使用できません。

Bluetooth 設定画面 (RJ-4030 のみ)

1 Bluetooth PIN コード

Bluetooth の PIN コード (パスキー) を必要とするかの設定、プリンターの Bluetooth PIN コード (パスキー) の変更、Bluetooth の通信を暗号化するかの設定を行うことができます。

[Bluetooth PIN コード] 内のプルダウンメニューから [有効] を選択すると、プリンターと Bluetooth で通信するパソコンにも PIN コードを設定する必要があります。必要に応じて、PIN コードを変更することもできます。

[暗号化] のチェックボックスにチェックを入れた場合は、Bluetooth 接続で、プリンターとパソコンが RJ ユーティリティを使ってデータを送信する場合に、その内容を暗号化して送信します。

2 Bluetooth デバイス名

プリンターに 30 文字 (30 バイト) 以内で名前を設定できます。複数の Bluetooth 対応プリンターが接続している場合、目的のプリンターを特定するのに便利です。

3 他のデバイスからの検索

他の Bluetooth 対応デバイスからの検索を許可するか設定します。

4 Bluetooth アドレス

Bluetooth アドレスの現在値を表示します。

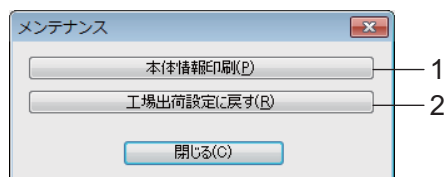


メモ

PIN コードとデバイス名には、英数字のみを使用してください。(A ~ Z、a ~ z、0 ~ 9)

デバイス名にはスペースを使用できません。PIN コードではスペースは使用できません。

メンテナンス画面



1 本体情報印刷

以下の情報をレポートに印刷するには、[**本体情報印刷**] をクリックします。

- プログラムのバージョン情報
- プリンターの使用履歴
- ドット抜け確認用パターン
- RJ ユーティリティの設定情報
- 転送データの一覧
- ネットワークの設定情報
- Wi-Fi® の設定情報

次ページに参考用の印刷見本を掲載しています。



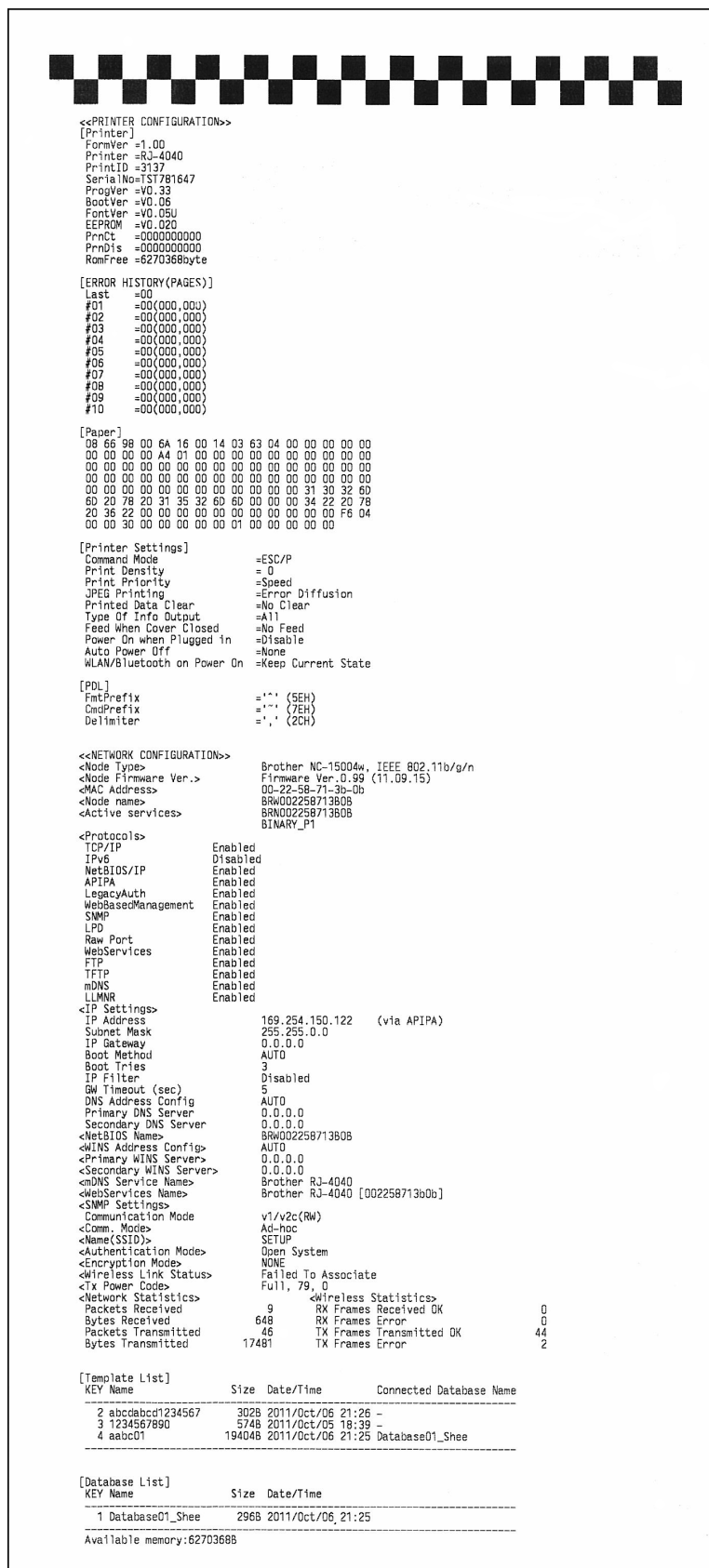
メモ

このレポートは、フィードボタン (F1) を使用して印刷することもできます。詳しくは、「本体設定情報の印刷」(▶▶55 ページ) をご覧ください。

2 工場出荷設定に戻す

[**工場出荷設定に戻す**] をクリックすると、RJ ユーティリティが初期設定になり、プリンターに送信されます。

本体情報印刷の印刷見本



印刷見本をスキャンしたものです。

概要

通信設定は、本機のネットワーク設定を USB 経由で変更するためのプログラムです。

通信設定を使用すると、1 台のプリンターに対してネットワーク設定の変更ができるだけでなく、同じ設定を簡単に複数台のプリンターに反映することもできます。



メモ

通信設定は、プリンタードライバーなど、他のソフトウェアのインストール時に、同時にインストールされます。詳しくは、「RJ-4040 プリンタードライバーとソフトウェアをインストールする」(▶▶6 ページ) をご覧ください。



- 通信設定を起動するには、管理者権限でログインすることが必要です。
- 通信設定は、弊社製で、本設定に対応したプリンターにのみ有効です。

通信設定を使用する

通信設定を起動する

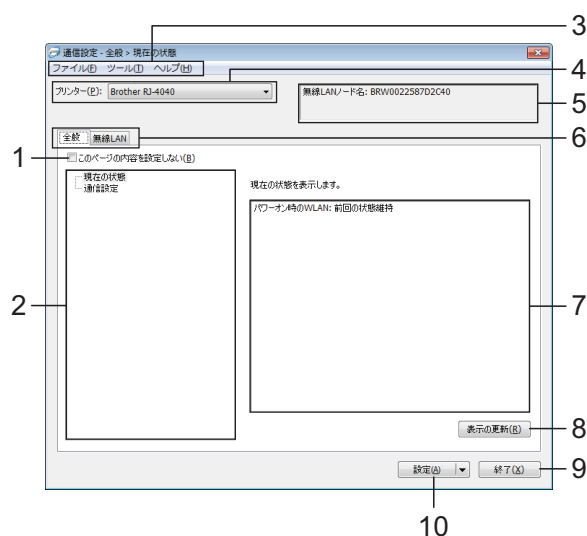
- ① 設定を変更したいプリンターを USB でパソコンに接続します。
- ② Windows 7/Windows Server 2008/Windows Server 2008 R2 の場合
スタートボタンから、[すべてのプログラム] - [Brother] - [Label & Mobile Printer] - [Printer Setting Tool] をクリックします。

Windows 8/Windows 8.1/Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2 の場合
[アプリ] 画面で [Printer Setting Tool] のアイコンをクリックします。

Windows 10 の場合
スタートボタンから [すべてのアプリ] を選択し、[Brother] - [Label & Mobile Printer] - [Printer Setting Tool] をクリックします。

- ③ 手順 ① で接続したプリンターを選択します。
- ④ [通信設定] ボタンをクリックします。メイン画面が表示されます。

メイン画面



1 このページの内容を設定しない

チェックを入れるとタブに  が表示され、設定や変更ができなくなります。

 が表示されているタブの内容は、[設定] をクリックしてもプリンターには反映されません。また、[コマンドファイルに保存] や [エクスポート] を実行した場合も、そのタブの内容は書き出されません。プリンターに内容を反映させたり、書き出しを行う場合は、チェックが外れていることを確認してください。

2 設定項目

[現在の状態] を選択すると、現在の設定内容が設定表示・変更エリアに表示されます。設定を変更したい場合は、項目を選択します。

3 メニューバー

各メニューの中に含まれているコマンドを、リストから選択します。

4 プリンター

通信設定をするプリンターを選択します。接続されているプリンターが 1 台のみの場合は、そのプリンターだけが表示されるため、選択する必要はありません。

5 ノード名

各ノード名が表示されます。ノード名の変更もできます。(「ノード名 /Bluetooth デバイス名の変更」(▶▶43 ページ) をご覧ください。)

6 各設定タブ

設定や変更を行うタブをクリックします。

タブに  が表示されている場合は、そのタブの設定内容はプリンターに反映されません。

7 設定表示・変更エリア

選択した項目について、現在の設定が表示されます。必要に応じて、プルダウン、直接入力などで設定を変更します。

8 表示の更新

クリックすると表示内容を更新し、最新の状態で表示します。

9 終了

[通信設定] を終了し、「プリンター設定ツール」のメイン画面に戻ります。



設定変更後、[設定] ボタンを押さずに [終了] ボタンを押すと、設定内容がプリンターに反映されません。

10 設定

[設定] をクリックすると、設定内容をプリンターに反映します。

プルダウンリストから [コマンドファイルに保存] を選択すると設定した内容をコマンドファイルへ書き出して保存します。書き出したコマンドファイルはマストレージ機能を使用してプリンターに適用させることができます。(「マストレージ機能」(▶▶46 ページ) をご覧ください。)



[設定] をクリックすると、各タブの設定内容がすべてプリンターに反映されます。

[このページの内容を設定しない] にチェックが入っている場合は、そのタブの内容は反映されません。

通信の設定を変更する

- 1 通信設定をインストールしたパソコンと設定を変更したいプリンターが USB で接続されていることを確認します。
- 2 通信設定を起動します。設定を変更したいプリンターが [プリンター] 欄に表示されていることを確認します。他のプリンターが表示されている場合は、[プリンター] コンボボックスでお望みのプリンターを選択してください。

プリンター(P): Brother RJ-4040



メモ

接続されているプリンターが1台のみの場合は、そのプリンターだけが表示されるため、選択する必要はありません。

- 3 [設定項目] 欄の [通信設定] から、変更したい項目を選択します。
- 4 設定表示・変更エリアで、プルダウンリストからお望みの設定を選択、または設定を入力します。
- 5 設定の変更がすべて終わったら、[設定] - [終了] をクリックします。設定が本体に適用されます。

複数台のプリンターに設定の変更を適用する

- 1 1つ前の「通信の設定を変更する」にしたがって操作したあと、プリンターをコンピュータから外し、次のプリンターを接続します。
- 2 [プリンター] コンボボックスで、新しく接続したプリンターを選択します。



メモ

[オプション設定] 画面で [プリンター接続時に、自動的に設定対象プリンターを変更する] にチェックが入っている場合は、接続したプリンターが自動的に選択されます。

詳しくは、「プリンター接続時に、自動的に設定対象プリンターを変更する」(▶▶43 ページ) をご覧ください。

- 3 [設定] ボタンをクリックします。最初のプリンターと同じ設定が、2 台目のプリンターに適用されます。
- 4 3 台目以降のプリンターについても、同様に手順 ① ~ ③ を行います。



IP アドレスが [STATIC] 設定になっている場合は、IP アドレスも、最初のプリンターと同じアドレスに変更されます。必要に応じて IP アドレスを変更してください。

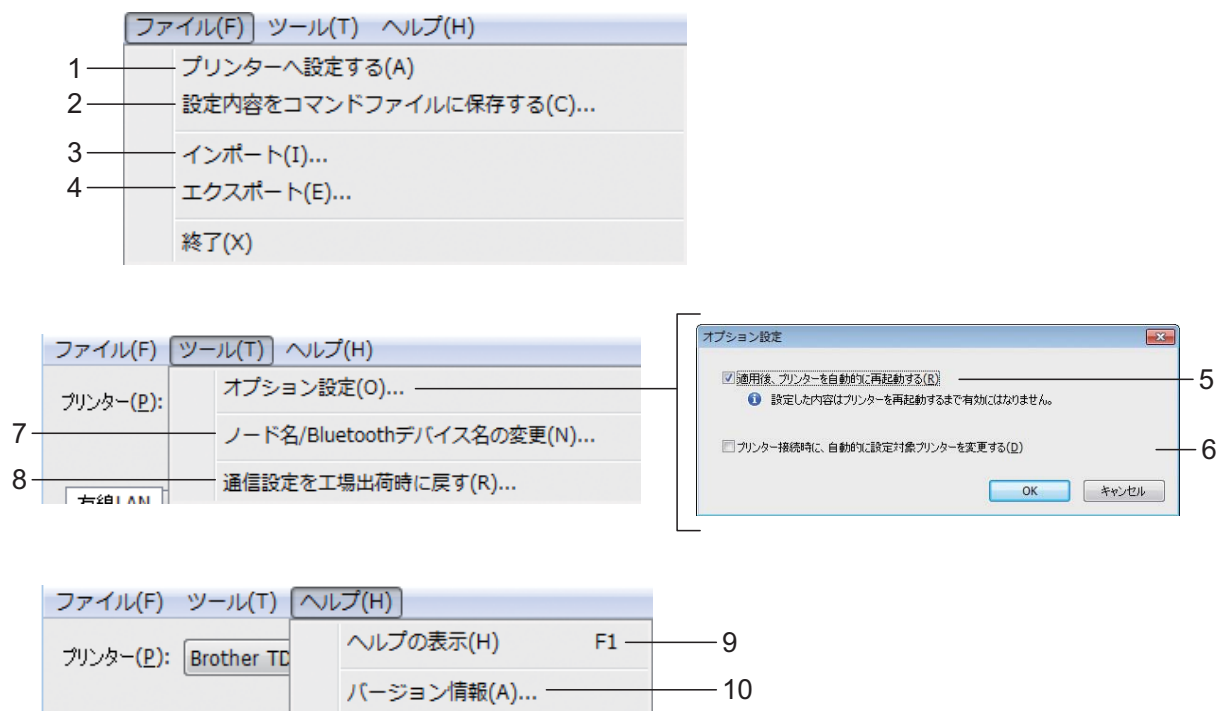


メモ

設定内容をファイルに保存するには、[ファイル] - [エクスポート ...] をクリックします。

エクスポートした設定内容は、次回通信設定で設定をインポートしたときに、[通信設定] の各画面に適用されます。

メニューバー



1 プリンターへ設定する

プリンターに設定を適用します。

2 設定内容をコマンドファイルに保存する

設定をコマンドファイルに保存します。拡張子は「.bin」です。

書き出したコマンドファイルはマストレージ機能を使用してプリンターに適用させることができます。（「マストレージ機能」(▶▶46 ページ) をご覧ください。）



メモ

「このページの内容を設定しない」にチェックが入っている場合は、そのタブの内容は保存されません。



- 次の情報は設定コマンドに保存されません。
 - ノード名
 - IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス（IP アドレスが **[STATIC]** になっている場合）
- 書き出した通信設定コマンドは、プリンターに設定を適用するためのものです。このコマンドファイルをインポートして適用させることはできません。
- コマンドファイルには認証キーやパスワードが含まれています。他のユーザーが参照できない場所に保存するなど、取り扱いには十分注意してください。
- コマンドファイルの書き出したプリンターと異なる機種種のプリンターにコマンドファイルを送信しないでください。

3 インポート

- 現在の PC 無線設定からインポートする
パソコンから設定をインポートします。

メモ

- インポートできるのは、パーソナルセキュリティ認証の設定（オープンシステム、共有キー認証、WPA/WPA2-PSK）のみです。エンタープライズセキュリティ認証（LEAP、EAP-FAST など）の設定はインポートできません。
- お使いのパソコン上で複数の無線 LAN が有効になっている場合は、最初に見つかった無線設定（パーソナルのみ）をインポートデータとみなします。
- インポートできるのは、[無線 LAN] タブ - [無線設定] 画面の設定値（接続モード、SSID、認証方式、暗号化方式、認証キー）のみです。

- プロファイルを選択してインポートする
エクスポートしたファイルを読み込み、その設定をプリンターに適用します。
[...] をクリックすると、ファイル参照ダイアログが開きます。インポートするファイルを選択してください。選択したファイルの設定内容が、設定表示・変更エリアに表示されます。

メモ

- 無線設定、TCP/IP 設定など、すべての設定をインポートできます。ただし、ノード名はインポートできません。
- 選択しているプリンターに適合していないプロファイルは、インポートできません。
- 読み込んだプロファイルの IP アドレスが [STATIC] 設定になっている場合は、すでにネットワーク上に存在する設定済みのプリンターの IP アドレスと重複しないよう、必要に応じて IP アドレスを修正してください。

4 エクスポート

現在の設定をファイルに書き出して保存します。

メモ

[このページの内容を設定しない] にチェックが入っている場合は、そのタブの内容は保存されません。

	エクスポートしたファイルの暗号化は行いません。
---	-------------------------

5 適用後、プリンターを自動的に再起動する

このチェックボックスにチェックを入れていると、通信設定を適用したあと、自動的にプリンターが再起動します。

チェックを入れない場合は、手動で再起動してください。

メモ

複数台のプリンターに設定を行う場合、このチェックボックスからチェックを外しておくと、作業時間が短縮できます。ただし、最初のプリンターを設定するときだけは、設定内容が意図どおりであるかどうかを確認するために、チェックを入れておくことをお勧めします。

6 プリンター接続時に、自動的に設定対象プリンターを変更する

このチェックボックスをチェックした状態でプリンターを接続すると、プリンターを自動で検出し、プリンターに設定されている現在値が [現在の状態] に表示されます。

メモ

接続したプリンターの機種が [プリンター] に表示されている機種と異なる場合、各編集画面中の設定内容が、接続したプリンターに合わせて変更されます。

7 ノード名 /Bluetooth デバイス名の変更

各ノード名の変更ができます。

8 通信設定を工場出荷時に戻す

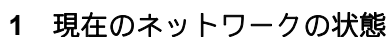
通信設定を工場出荷状態に戻します。

9 ヘルプの表示

ヘルプを表示します。

10 バージョン情報

バージョン情報を表示します。



表示を更新するには、[表示の更新] ボタンをクリックします。

ネットワーク設定



設定項目：[常に ON]、[常に OFF]、[前回の状態維持]

無線を使用するかどうかを設定します。

通信設定 - 無線LAN > TCP/IP(無線)

ファイル(F) ツール(T) ヘルプ(H)

パンター(P): [Brother RJ-4040]

無線LAN/ノード名: BRW0022587D2C40

全般 無線LAN

☐ このページの内容を設定しない(E)

現在の仕様
TCP/IP(無線)
無線設定

無線で使用するTCP/IPの設定を行います。

IPアドレス
IPアドレスの設定(O): [STATIC] []

IPアドレス(E): [] [] [] []

サブネットマスク(M): [] [] [] []

ゲートウェイアドレス(G): [] [] [] []

DNSサーバー

DNSサーバーの設定(D): [STATIC] []

プライマリDNSサーバーアドレス(R): [] [] [] []

セカンダリDNSサーバーアドレス(S): [] [] [] []

設定(A) [] 終了(X)

[**STATIC**]、[**AUTO**]、[**BOOTP**]、[**DHCP**]、
[**RARP**] のいずれかを選択します。

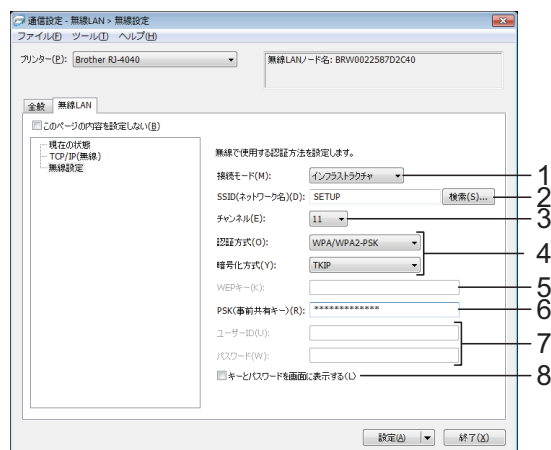
それぞれの値を設定します。

IP アドレスが **[STATIC]** に設定されている場合にのみ、設定できます。

[**STATIC**]、[**AUTO**] のいずれかを選択します。

DNS サーバーが **[STATIC]** に設定されている場合にのみ、設定できます。

無線設定



1 接続モード

[アドホック]、[インフラストラクチャ] のいずれかを選択します。

**メモ**

アドホックは端末や OS によっては使えない場合があります。

2 SSID (ネットワーク名)

[検索] ボタンを押すと、SSID の選択肢が、別画面で表示されます。

3 チャンネル

表示された選択肢から選択します。

4 認証方式/暗号化方式

「接続モードと認証方式・暗号化方式」(▶▶45 ページ) のように対応します。

5 WEP キー

暗号化方式として WEP を選択した場合にのみ設定できます。

6 PSK (事前共有キー)

認証方式として WPA-PSK、WPA2-PSK、または WPA-PSK/WPA2-PSK を選択した場合にのみ設定できます。

7 ユーザ ID / パスワード

認証方式として LEAP、EAP-FAST、PEAP、EAP-TTLS、EAP-TLS を選択した場合にのみ設定できます。なお、EAP-TLS の場合は、パスワードの登録は必要ありませんが、クライアント証明書の登録が必要です。証明書の登録はウェブブラウザからプリンターへ接続して設定してください。

8 キーとパスワードを画面に表示する

チェックを入れると、キーとパスワードが平文 (暗号化されていない文字列) で表示されます。

接続モードと認証方式・暗号化方式**■ 接続モードがアドホックの場合**

認証方式	暗号化方式
オープンシステム	なし
	WEP

■ 接続モードがインフラストラクチャの場合

認証方式	暗号化方式
オープンシステム	なし
	WEP
共有キー認証	WEP
	WEP
WPA-PSK	TKIP
	AES
WPA2-PSK	AES
WPA/WPA2-PSK	TKIP
	AES
LEAP	CKIP
EAP-FAST/NONE	TKIP
	AES
EAP-FAST/MS-CHAP v2	TKIP
	AES
EAP-FAST/GTC	TKIP
	AES
PEAP/MS-CHAPv2	TKIP
	AES
PEAP/GTC	TKIP
	AES
EAP-TTLS/CHAP	TKIP
	AES
EAP-TTLS/MS-CHAP	TKIP
	AES
EAP-TTLS/MS-CHAPv2	TKIP
	AES
EAP-TTLS/PAP	TKIP
	AES
EAP-TLS	TKIP
	AES



より高度なセキュリティ設定を行う場合：
EAP-FAST/PEAP/EAP-TTLS/EAP-TLS 認証時に証明書の検証を行う場合は、通信設定から証明書の設定はできません。プリンターをネットワークに接続できる状態に設定したあと、ウェブブラウザからプリンターへ接続して設定してください。

マストレージ機能

マストレージ機能とは

この機能は、USB 接続を通して、パソコンなどから本機にファイルをコピーすることで、各種コマンドの実行や、JPEG 印刷ができる機能です。マストレージ領域内にコピーされたファイルが、Wi-Fi ボタン／Bluetooth ボタンを押すことで処理されます。

この機能は、次のような場合に便利です。

- 管理者から配布された設定用のコマンドファイル (bin 形式) やテンプレートファイル (blf 形式) を、専用のツールを使わずに、簡単に本機に反映したいとき
- プリンタードライバーをインストールしないで、簡単に JPEG ファイルを印刷したり、各種コマンドを実行したいとき
- Windows に限らず、USB ホスト機能を持つ OS からデータ転送や印刷を行いたいとき

マストレージ機能を使用する

- 1 本機の電源が入っていないことを確認します。
- 2 本機の Wi-Fi ボタン／Bluetooth ボタンを押しながら、電源ボタンを長押しします。
本機がマストレージモードで起動し電源表示ランプ (POWER) と状態表示ランプ (STATUS) が緑色に点灯します。
- 3 パソコンなどと本機を USB で接続します。
パソコンなどの画面上に、本機のマストレージ領域が表示されます。



メモ

マストレージ領域が自動で表示されない場合は、表示方法について、お使いのパソコンなどの OS の説明書をご覧ください。

- 4 対象ファイルを、ドラッグ & ドロップで、マストレージ領域にコピーします。
- 5 Wi-Fi ボタン／Bluetooth ボタンを押します。
コマンドファイルの内容が実行されます。
実行中は、Wi-Fi 表示ランプ (Wi-Fi) / Bluetooth 表示ランプ (Bluetooth) が青色に点灯します。
- 6 実行が完了すると、Wi-Fi 表示ランプ (Wi-Fi) / Bluetooth 表示ランプ (Bluetooth) が消灯します。
- 7 マストレージモードを解除するには、本機の電源を一旦切ります。
再度起動した際には、通常モードで起動します。



- 電源を切ると、マストレージモードが解除され、マストレージ領域内のファイルは削除されます。
- この機能で使えるファイル形式は、**bin**、**blf**、**jpg** のみです。それ以外のファイルは使用しないでください。
- マストレージ領域内にフォルダを作成しないでください。フォルダを作成した場合、フォルダ内のファイルは、実行の対象となりません。
- マストレージ領域の容量は、**2.45MB** です。**2MB** を超えるファイルをコピーした場合は、動作を保証いたしかねますのでご注意ください。
- 複数のファイルをマストレージ内にコピーした場合、ファイルの実行順は保証いたしかねますのでご注意ください。
- マストレージモード起動中は、**Wi-Fi®** 機能、**Bluetooth®** 機能、**RS-232C** 機能を使用することはできません。
- マストレージ領域内にコピーしたファイルの実行中は、領域内の他のファイルにアクセスしないでください。

JPEG 印刷

プリンタードライバーを使用しなくても画像データ（JPEG）を印刷することができます。



メモ

- JPEG 画像は、マストレージ機能を使用して印刷できます。
- **Bluetooth®** 接続では、**BIP**（ベイスックイメージプロファイル）または **OPP**（オブジェクトプッシュプロファイル）を利用して通信を行い、印刷します。
- 本機は、カラー／モノクロの **JPEG** 画像を一旦ディザリング処理を行い、ハーフトーンの画像にしてから、モノクロの印刷データを作ります。
- モノクロの **JPEG** 画像を送信した場合は、印刷される画像がディザリング処理によって不明瞭になる場合があります。
- 画像の質を向上させるには、**JPEG** 画像に対する処理をすべてオフにしてみてください。

- **JPEG** 画像のみ印刷することができます。（ファイルの拡張子は **jpg** に限ります。）
- 印刷できるファイルサイズは最大 **5MB** までです。（マストレージ機能を使用する場合は、**2.38MB** までです。）
- 印刷できる画像の大きさは、最大で次の通りです。
高さ x 幅 = **8000 x 832** ドット
画像の大きさが上限を超えた場合、本機は受信データを破棄し、印刷しません。
- **1** ピクセル = **1** ドットで印刷します。
- 本機では **2** 値化処理を行って画像を印刷します。
- 縦横の比率は受信データのまま印刷します。

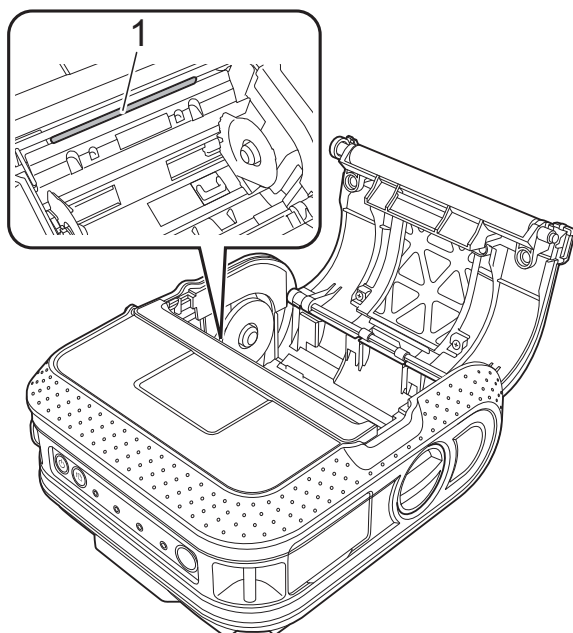
6

お手入れ

本機は、必要に応じてお手入れをしてください。ほこりの多い場所など、使用される環境によっては、頻繁にお手入れをする必要があります。

プリントヘッドのお手入れ

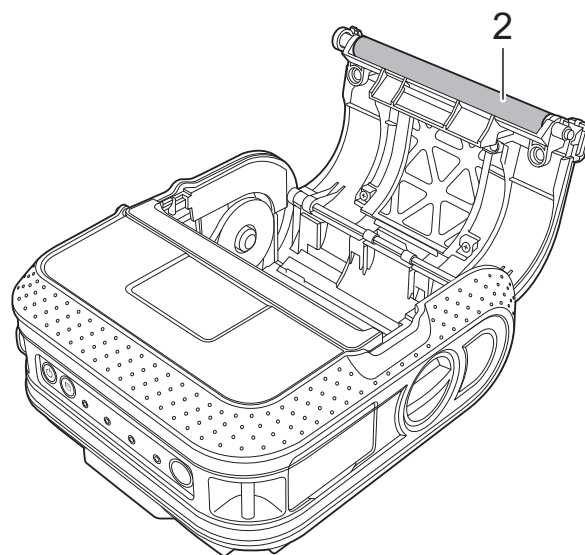
プリントヘッドを市販の綿棒で軽く拭いてください。



1 プrintヘッド

ローラーのお手入れ

セロハンテープでローラーのほこりを取ってください。



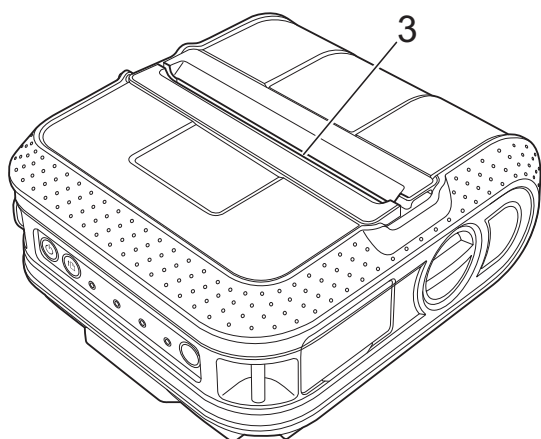
2 ローラー



ベンジンなどの有機溶剤は使わないでください。

ラベル排出口のお手入れ

ラベル排出口に糊が付着して、紙詰まりが生じる場合は、コンセントから電源プラグを抜き、ラベル排出口をイソプロピルアルコールに浸した布で拭き取ってください。



3 ラベル排出口

表示ランプ

表示ランプは点灯したり、点滅して、本機の状態を示します。下記に示すイラストは、この章で使用する表示ランプの色とパターンの意味を示しています。

エラーの原因と対処法については、「表示ランプ警告」(▶▶53 ページ) または「困ったときは」(▶▶57 ページ) をご覧ください。

 または  または  または  表示ランプが各色で点灯

 または  または  または  表示ランプが各色で点滅

 または  または  表示ランプが各色で 1 ～ 2 回点滅したあと、消灯

 表示ランプが各色で点灯または点滅

 表示ランプが消灯

POWER	STATUS	BATT (BATTERY)	Bluetooth Wi-Fi (Wi-Fi)	内容
				電源オン
				ロール紙カバーオープン
				データ受信中 データ転送中
				印刷エラー フィードエラー カバーオープンエラー 通信エラー イメージ展開エラー データベース検索エラー テンプレートなしエラー アクセスポイント検索エラー * アクセスポイント接続エラー * セキュリティエラー *
				電池エラー マスストレージエラー
				システムエラー

POWER	STATUS	BATT (BATTERY)	Bluetooth Wi-Fi (Wi-Fi)	内容
				ブートモード中
			 (3 秒に 1 回)	無線 LAN オン：未接続 *
				無線 LAN または Bluetooth オン：接続確立
			 (1 秒ごと)	WPS 設定中 * Bluetooth でペアリング中
			 (2 秒ごと)	プリンターから Apple デバイス (iPad, iPhone, iPod touch) に Bluetooth 接続中
				リセット中
				初期化完了 ([印刷後の印刷データ] を [消去する] に設定している場合)
				クーリング中
		 (4 秒に 1 回)		充電電池使用中 (容量：中)
		 (4 秒に 2 回)		充電電池使用中 (容量：低)
		 (1 秒ごと)		充電電池使用中 (要充電)
				充電中
				充電電池使用中 (容量：満充電) 充電完了
				マスのストレージモード起動中
				マスのストレージモードでファイル処理中
				初期化中

* RJ-4040 のみ

充電電池容量について

印刷可能枚数の目安は、以下のとおりです。

容量：満充電 約 2,000 枚印刷可能

容量：中 約 1,000 枚印刷可能

容量：低 印刷の保証はできません。

要充電 本機をこれ以上動作させると、印刷中でも電源が落ちます。

- 弊社の印刷テスト用データ（102 × 152mm サイズ・印字率 7%）を使用、温度 23 °C の場合。
- 満充電状態の新品充電電池を使用し、USB 接続で連続印刷した場合。

※ ただし上記の内容は、印字条件や使用環境、電池劣化状況などによって変化するため、保証はいたしかねます。

表示ランプ警告

内容	原因または解決方法
電源表示ランプ (POWER) が点灯しない	電源が供給されていません。 Li-ion 充電機をお使いの場合は、充電機が確実に本機にセットされていること、充電機が充電されていることを確認してください。 外付け電源をお使いの場合は、AC アダプターやカーアダプターが確実に接続されていること、電源コンセントから電気の供給がされていることを確認してください。詳しくは、「電源の種類と操作」 (▶▶2 ページ) をご覧ください。 DC 電源をお使いの場合は、ヒューズを確認してください。
プリントヘッドまたはモータークールダウン中	プリントヘッドまたはモーターが高温になりました。 プリントヘッド： プリントヘッドが高温になると、用紙に余分な印刷がされる場合があります。印字が多く、印字濃度が濃い文書を多量に印刷すると、この現象が起こる場合があります。 本機は印刷を停止し、プリントヘッドを冷やします。そのあと、印刷を再開します。 この現象の発生頻度の軽減や回避をするためには、印字濃度を薄く設定し、印字する量を減らしてください (例えば、文書から背景の陰影やグラフの色などを省きます)。また、本機は、密閉された場所ではなく、十分な換気を行える環境でご使用ください。 モーター： 連続使用すると、モーターが高温になります。この場合、本機は印刷を停止し、モーターを冷やします。そのあと、印刷を再開します。  メモ 高所 (3,048 m / 10,000 フィート以上) など空気濃度の薄いところでは、本機を冷やすために利用できる空気が薄いいため、このような現象が起きやすくなります。
データ受信エラー	通信が不安定な場合、データが正しく受信できないことがあります。通信条件を改善し、もう一度接続してください。
ブートモード中	ファームプログラムを更新している最中に電源アダプターを引き抜くと、次回電源を入れたとき、本機はブートモードで起動します。 この状態になったら、修理が必要です。販売店またはブラザーコールセンターまでお問い合わせください。

内容	原因または解決方法
アクセスポイント検索エラー 接続エラー	一定時間（120 秒）経過しても、アクセスポイントを検索することができなかった場合、検索エラーとなります。 WPS、PBC モードのアクセスポイントを 2 台以上検出した場合、接続エラーとなります。 本体の電源を切るか、Wi-Fi ボタンを押して、無線 LAN 設定をやり直してください。
マスのストレージエラー	ファイルシステムが壊れたときや、マスのストレージのファイル処理している最中にファイルのコピーを行った場合に起こります。 本体の電源を切ってください。
システムエラー	この状態になったら、本体の電源を切り、販売店またはブラザーコールセンターまでお問い合わせください。

上記に記載のないエラー内容については、次章「困ったときは」（▶▶57 ページ）をご覧ください。

本体設定情報の印刷

フィードボタン (F) を使用して、以下のような本体設定情報のレポートを印刷することができます。

- プログラムのバージョン情報
- プリンターの使用履歴
- ドット抜け確認用パターン
- RJ ユーティリティの設定情報
- 転送データの一覧
- ネットワークの設定情報
- Wi-Fi® の設定情報



メモ

- 印刷する項目は、RJ ユーティリティで、あらかじめ設定することができます。詳しくは、「本体情報印刷の設定」 (▶▶34 ページ) をご覧ください。
- 「本体設定」欄には、ノード名も記載されます。お買い上げ時のノード名は、「BRWxxxxxxxxxxxx」となっています。「xxxxxxxxxxxx」の部分は、本機の MAC アドレス、イーサネットアドレスに基づいています。



メモ

- 本体情報の印刷には、102mm 幅の感熱ロール紙をご使用になることをお勧めします。
印刷に必要な長さは、印刷したい項目の設定により異なります。
- RJ ユーティリティを使用しても、本体情報の印刷ができます。詳しくは、「本体情報印刷」 (▶▶37 ページ) をご覧ください。

- 1 102mm 幅の感熱ロール紙がセットされ、ロール紙カバーが閉まっていることを確認します。
- 2 本機の電源を入れます。
- 3 フィードボタン (F) を長押しすると、電源表示ランプ (POWER) が緑色に点滅し、設定が印刷されます。

ベルトクリップを取りつける

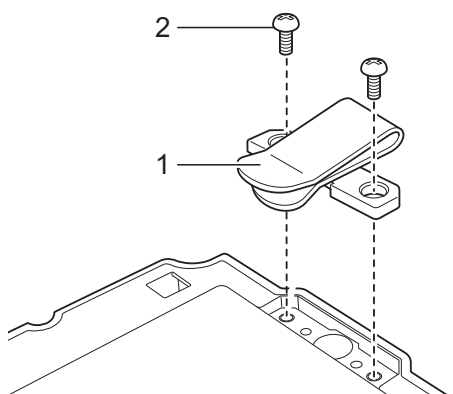
本機を外出先などで使用する際、ベルトクリップを使用して、本機をベルトに装着することができます。

- 1 本機の背面にあるベルトクリップ止めのネジをプラスドライバー（ネジ回し）で外します。



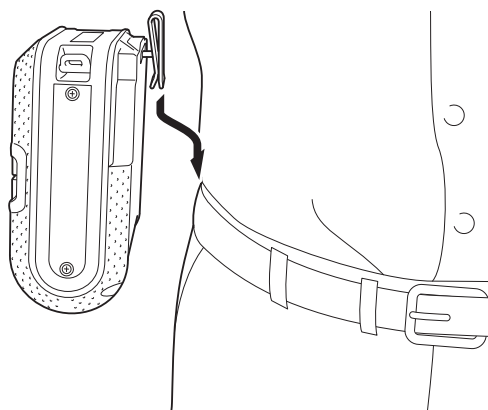
ネジをなくさないようにご注意ください。

- 2 下図のように、本機の背面に、ネジ (+) でベルトクリップを取りつけます。



- 1 ベルトクリップ
- 2 ネジ (+)

- 3 ベルトクリップをベルトに装着します。



- ネジはしっかりと締めてください。本機が落下してケガをするおそれがあります。
- ベルトクリップは本機にしっかりと固定してください。本機が落下してケガをするおそれがあります。
- ベルトクリップは衣服のベルトにしっかりと装着してください。本機が落下してケガをするおそれがあります。

概要

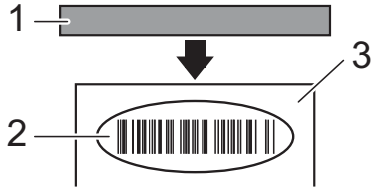
本機に問題が起きた場合は、はじめに次の内容について、正しく対応しているかどうかを確認してください。

- 本機に充電電池を装着、もしくは AC アダプターを用いて本機を電源コンセントに接続していますか？
詳しくは、「電源の種類と操作」(▶▶2 ページ) をご覧ください。
- 適切なプリンタードライバーを選択して、インストールしていますか？
「RJ-4040 プリンタードライバーとソフトウェアをインストールする」▶▶6 ページ、「RJ-4030Ai プリンタードライバーとソフトウェアをインストールする」▶▶16 ページ、または「RJ-4030 プリンタードライバーとソフトウェアをインストールする」▶▶17 ページをご覧ください。
- 本機をパソコンに接続していますか？
詳しくは、「本機とパソコンを接続する」(▶▶24 ページ) をご覧ください。

上記のことを確認しても、問題が解決しない場合は、この章をご覧ください。

問題	解決方法
印刷できない。 状態表示ランプ (STATUS) が点滅する。 印刷エラー フィードエラー カバーオープンエラー 通信エラー イメージ展開エラー データベース検索エラー	■ ケーブルが外れていませんか？ ケーブルがしっかり接続されているか確認してください。 ■ 用紙が正しくセットされていますか？ 正しくセットされていない場合は、用紙を取り外して、セットしなおしてください。 詳しくは、「用紙をセットする」(▶▶22 ページ) をご覧ください。 ■ 用紙を使い切っていませんか？ 使い切っている場合は、新しい用紙をセットしてください。 ■ ロール紙カバーが開いていませんか？ ロール紙カバーが閉じているか確認してください。 ■ 印刷エラーや送信エラーが発生していませんか？ 3m を超えるデータや、JPEG でないファイルは印刷できません。 BLF ファイルでテンプレートなどを送るときに、ファイル内のモデル名が違っていたり、テンプレートが存在しないとエラーランプが表示されます。 このような場合は本機の電源を切り、再び電源を入れてください。 それでもエラーが表示される場合は、お買い上げのブラザー販売店にお問い合わせください。 ■ 用紙幅ガイドが用紙から離れていませんか？ 用紙幅ガイドを用紙の幅に合わせてください。 詳しくは、「用紙をセットする」(▶▶22 ページ) をご覧ください。

問題	解決方法
電源表示ランプ (POWER) が点灯しない。	■ 電源コードが正しく挿し込まれていますか？ 電源コードが挿し込まれていることを確認してください。正しく挿し込まれている場合は、別のコンセントに挿し込んでみてください。 ■ それでも電源表示ランプ (POWER) が点灯しない場合は、お買い上げのブラザー販売店にお問い合わせください。
ラベルが正しく搬送されない。	プリントヘッドやローラーが汚れていませんか？ プリントヘッドは通常の使用では汚れませんが、ローラーからのほこりや汚れがプリントヘッドに溜まる場合があります。 このような場合は、ローラーを掃除してください。 詳しくは、「ローラーのお手入れ」 (▶▶48 ページ) をご覧ください。
データ送信エラーがパソコンに表示される。	■ 正しいポートが選択されていますか？ 正しいポートが選択されているか確認してください。 ■ 本機がクーリングモード (電源表示ランプ (POWER) がオレンジ色に点滅) になっていませんか？ 表示ランプが点滅しなくなるまで待ってから、再び印刷してください。 ■ 別のユーザーがネットワーク経由で印刷していませんか？ 印刷しようとしたときに、他のユーザーが大量のデータを印刷していた場合、処理中の印刷が終了するまで、プリンターは新しい印刷ジョブを受け付けることができません。そのような場合は、他の印刷ジョブが完了してから、印刷ジョブを再度実行してください。
ラベルが詰まる。 印刷後、ラベルが正しく排出されない。	■ ローラーにほこりや汚れが溜まり、ローラーの回転を妨げていませんか？ 詳しくは、「ローラーのお手入れ」 (▶▶48 ページ) をご覧ください。 ■ ラベルの排出経路がふさがっていないか確認してください。 ■ 用紙を一旦取り外して、正しくセットしなおしてください。 詳しくは、「用紙をセットする」 (▶▶22 ページ) をご覧ください。 ■ ロール紙カバーがきちんと閉じているか確認してください。
印刷品質が低い。 印刷に白筋が入る。	■ 印刷濃度を調整してください。詳しくは、「用紙サイズを設定する」のエネルギーランク (▶▶30 ページ) をご覧ください。 ■ ローラーにほこりや汚れが溜まり、ローラーの回転を妨げていませんか？ ローラーを掃除してください。詳しくは、「ローラーのお手入れ」 (▶▶48 ページ) をご覧ください。

問題	解決方法
印刷されたバーコードが読めない。	■ 以下のように、ラベルがプリントヘッドに対して縦になるようにセットしてください。  1 プrintヘッド 2 ラベル 3 印刷方向 ■ 別のバーコードスキャナを試してください。 ■ [印刷品質] オプションで [品質優先] に設定してバーコードを印刷されることをお勧めします。 Windows Vista/Windows Server 2008 の場合 [印刷品質] オプションを変更するには、[コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリンタ] をクリックし、設定を変更したいプリンターを右クリックして、[プロパティ] を選択します。[全般] タブで、[印刷設定] をクリックします。 Windows 7/Windows Server 2008 R2 の場合 [印刷品質] オプションを変更するには、[スタート] - [デバイスとプリンター] をクリックし、設定を変更したいプリンターを右クリックして、[印刷設定] をクリックします。 Windows 8/Windows 8.1/Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2 の場合 [印刷品質] オプションを表示するには、プリンタープロパティを開きます。[アプリ] 画面で [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンター] をクリックし、設定したいプリンターを右クリックして [印刷設定] をクリックします。 Windows 10 の場合 [印刷品質] オプションを表示するには、プリンタープロパティを開きます。スタートボタン - [設定] - [デバイス] - [デバイスとプリンター] をクリックし、設定したいプリンターを右クリックして [印刷設定] をクリックします。

問題	解決方法
プリンターをリセットしたい。 パソコンから転送したデータを削除したい。	本機をリセットするには、次の手順にしたがってください。 1 電源ボタン (⏻) を長押しして、本機の電源を切ります。 2 フィードボタン (⏮) と電源ボタン (⏻) を同時に長押しします。電源表示ランプ (POWER)、状態表示ランプ (STATUS)、充電表示ランプ (BATT) が点滅します。 3 電源ボタン (⏻) を押しながら、フィードボタン (⏮) を 3 回押し、最後に、電源ボタン (⏻) を離します。 パソコンから転送したデータがすべて削除され、本機が、お買い上げいただいたときの状態にもどります。
現在の印刷ジョブをキャンセルしたい。	本機の電源が入っていることを確認して、電源ボタン (⏻) を押します。
USB ケーブル経由で印刷するときに、プリンターが一時停止と印刷を繰り返す。	本機が逐次印刷に設定されていませんか？ その場合は、印刷モードをバッファ印刷に設定してください。 Windows Vista/Windows Server 2008 の場合 [コントロールパネル] から [ハードウェアとサウンド] を選択して、[全般] タブの [印刷設定] をクリックします。 [その他の設定] タブにある、[一ページ分のデータを受信してから印刷を開始する] を選択します。 Windows 7 / Windows 8 / Windows 8.1 / Windows Server 2008 R2 / Windows Server 2012 / Windows Server 2012 R2 の場合 [デバイスとプリンター] から、設定を変更したいプリンターを右クリックし、[印刷設定] を選択して、プリンターのプロパティを開きます。[その他の設定] タブにある、[一ページ分のデータを受信してから印刷を開始する] を選択します。 Windows 10 の場合 スタートボタンから [設定] - [デバイスとプリンター] を選択し、設定を変更するプリンターを右クリックして [印刷設定] を選択し、プリンタープロパティを開きます。[一ページ分のデータを受信してから印刷を開始する] を選択します。
用紙の頭出しができない。 エラーが起きる。	紙送りエラーが出るときは、用紙サイズ設定で、プリンターに正しい用紙設定を適用してください。
データを送信しているのに、本機の電源表示ランプ (POWER) が緑色に点滅しない。	USB ケーブルが正しく、しっかりと接続されていることを確認してください。また、他の USB ケーブルを使用してみてください。 Bluetooth® または Wi-Fi® を使用している場合は、Bluetooth 表示ランプ (📶) または Wi-Fi 表示ランプ (📶 Wi-Fi) が青色に点灯していることを確認してください。点灯していない場合は、接続を確認してください。 詳しくは、「本機とパソコンを接続する」 (▶▶24 ページ) をご覧ください。

製品仕様

モデル名	RJ-4040	RJ-4030Ai	RJ-4030
印刷			
印刷方式	感熱方式		
印刷解像度	203 dpi		
印刷速度	最高：127 mm / 秒		
印刷幅	最大：104 mm		
本体サイズ			
重量	本体：約 610g 充電機装着時：約 850g		
外形寸法	約 162 mm （幅） x 176 mm （高さ） x 77 mm （奥行き）		
インターフェイス			
USB	USB Ver.2.0 Full Speed （ミニ B タイプ、ペリフェラル）		
シリアル	RS232C ※ 弊社製専用ケーブル		
Bluetooth®	対応していません。	Ver. 2.1 +EDR (Class 1) 対応プロファイル： BIP （ベーシックイメージプロファイル） OPP （オブジェクトプッシュプロファイル） SPP （シリアルポートプロファイル） iAP （iPhone/iPod/iPad アクセサリプロトコル）	Ver. 2.0 +EDR (Class 2) 対応プロファイル： BIP （ベーシックイメージプロファイル） OPP （オブジェクトプッシュプロファイル） SPP （シリアルポートプロファイル）
無線 LAN	無線 LAN IEEE802.11b/g/n （インフラストラクチャモード / アドホックモード）	対応していません。	

アドホックモードは端末や OS によっては使えない場合があります。

モデル名	RJ-4040	RJ-4030Ai	RJ-4030
環境条件			
利用環境	温度：使用時：0 - 50 °C 充電時：0 - 40 °C		
	湿度：20 - 80%（最大湿球温度 27 °C 結露のないこと）		
保管環境	温度：-20 - 60 °C *		
	湿度：20 - 80%（最大湿球温度 45 °C 結露のないこと）		

* 車内など、直射日光の当たる場所では 60 °C 以上になる場合がありますので、ご注意ください。

モデル名		RJ-4040	RJ-4030Ai	RJ-4030
電源（別売品）				
充電電池		Li-ion 充電電池：14.4 V		
印刷可能量		約 2,000 枚 ※ 満充電状態の新品充電電池を使用し、USB 接続で連続印刷した場合。 ※ 弊社の印刷テスト用データ（102×152 mm サイズ・印字率 7%）を使用、温度 23 ℃の場合。		
アダプター		AC アダプター（15 V）		
カーアダプター		カーアダプター（シガーソケットタイプ）（12 V）		
用紙仕様				
RD ロール （レシート用紙）	外径	58 mm 以下		
	芯の直径	12 mm		
	ラベルの間隔	なし		
RD ロール （プレカット紙ラベル 《定型ラベル》）	外径	58 mm 以下		
	芯の直径	25.4 mm		
	ラベルの間隔	3 mm 以上		
本体で使用可能な用紙	用紙の幅	51 mm ～ 118 mm		
	外径	58 mm 以下		
	芯の直径	12 mm ～ 25.4 mm		
	ラベルの間隔	3 mm 以上		
用紙センサー		透過型／ギャップ、反射型／バー		
対応する OS				
対応する OS に関する最新情報については、弊社サポートサイト（ support.brother.co.jp ）をご覧ください。				
その他				
ベルトクリップの替えネジ仕様		バインドネジ：M2.6 長さ 6 mm		
防塵防滴性能		IP54		

brother